

# 京都府産野菜の市場動向

1995～2002年平均 2003～2005年平均の変化

2007/01/29

京都大学大学院地球環境学堂

吉野章

## 内容

1 . 市場動向の見方 .....	5
( 1 ) 需要の動き .....	5
( 2 ) 商品価値競争力の動き .....	5
( 3 ) コスト競争力.....	5
( 4 ) 市場動向と産地対応.....	6
2 . 分析期間.....	7
3 . 分析市場.....	7
4 . 野菜計：京都市中央卸売市場.....	8
( 1 ) 概要.....	8
( 2 ) 需要動向.....	8
( 3 ) 商品価値競争力.....	8
( 4 ) コスト競争力.....	8
( 5 ) 東京都中央卸売市場の動き .....	10
5 . 「京野菜」の市場動向 .....	12
( 1 ) 加茂ナス.....	12
( 2 ) 万願寺トウガラシ .....	14
( 3 ) 青トウガラシ（伏見トウガラシを含む）.....	15
( 4 ) 切り水菜.....	17
( 5 ) 菜の花（花菜） .....	20
( 6 ) 青ネギ（九条ネギを含む） .....	21
( 7 ) 一般野菜の動向.....	23

品目別市場動向 .....	24
1．エントリーした品目 .....	25
2．需要動向 .....	26
(1) 需要が増加した品目 .....	26
(2) 需要が減少した品目 .....	26
3．商品価値競争力の動き .....	27
(1) 商品価値競争力が向上した品目 .....	27
(2) 商品価値競争力が低下した品目 .....	27
4．コスト競争力の動き .....	28
(1) コスト競争力が向上した品目 .....	28
(2) コスト競争力が低下した品目 .....	28
5．総括表 .....	29
表3-1 総括表：京都市中央卸売市場における京都府産野菜の 1995~2002年平均 2003~2005年平均の動き .....	30
市場動向分析システム .....	32
1．付属 CD-ROM の使い方 .....	33
(1) 内容 .....	33
(1) 利用環境 .....	33
(2) 利用手順 .....	33
(3) 参考指標の見方 .....	36
(4) 需要動向の見方 .....	38
(5) 商品価値競争力の見方 .....	40
(6) コスト競争力の見方 .....	42
品目別解説 .....	44



# 1 . 市場動向の見方

野菜の市場動向は，以下の三つの指標で判断します。

## ( 1 ) 需要の動き

需要の動きを価格の動きだけで判断してはいけません。市場への入荷量次第で価格は変化するからです。価格が同じとなる出荷量の水準がどう変動したかで需要の変化を判断します。需要が高まっている品目は，市場における有望性が高まっている品目です。

## ( 2 ) 商品価値競争力の動き

京都府産の野菜の商品価値が他産地と比較してどの程度評価されているかが商品価値競争力です。ただし，この「他産地」には，中国等の外国も含みます。商品価値競争力が高まっているとは，京都府産の品質や京都府の産地対応の市場評価が高まっていることを示します。

注意：同じ品目でも重量単価が違う品種・系統が含まれている場合に，産地として高単価品目に比重が移した場合も一見商品価値競争力は高まって見えますので，注意してください。

## ( 3 ) コスト競争力

京都府と他産地の供給力の変化の違いを示します。他産地の供給力が維持～低下であるのに対して，京都府の供給力が高まっていれば，京都府のコスト競争力は高まっていることとなります。この供給力は，価格の変化にいかに対応しているかで決まります。産地の供給力が低下しているのは，産地の高齢化などによって生産力が低下している場合と，他の作型や他の品目への転換が進んでいる場合が含まれます。

## ( 4 ) 市場動向と産地対応

野菜の市場動向は、需要と商品価値競争力、並びにコスト競争力の変化のことでありますが、それらは、市場環境の変化、京都府農業の経営資源の変化、ならびに京都府産野菜のマーケティング戦略の成果によってもたらされます。変化が現れた品目については、その変化の要因を探り、それに対応した遅滞のない産地対応を行うことが、産地としての競争力の維持・強化にとって肝要です。

## 2．分析期間

1995～2002年平均に対する，2003～2005年平均の変化を分析しています。なお，本報告書の記述で，「以前」と表現した場合，それは1995～2002年の平均であることを示し，「現在」といった場合2003～2005年の平均であると考えてください。

## 3．分析市場

京都市中央卸売市場と東京都中央卸売市場の二市場における京都府産野菜の市場動向を分析しています。ただし，東京都中央卸売市場における京都府産野菜の出荷量のごくわずかであるため，分析は参考程度です。

## 4 . 野菜計 : 京都市中央卸売市場

### ( 1 ) 概要

京都市中央卸売市場における京都府産野菜のシェアは最新3年平均で7.5%。それ以前の8年平均9.4%から2.9ポイントの低下である。出荷のピークは6~7月であり,10~11%のシェアとなる。高単価な品目への特化が見られ,平均単価はその他の産地の57.7%高となっている。その傾向は,近年顕著で,かつての36.6%高から21.1ポイント高まった。

### ( 2 ) 需要動向

京都市における野菜の需要は,1999年まで減少傾向にあったが,それ以降はほぼ維持されている。

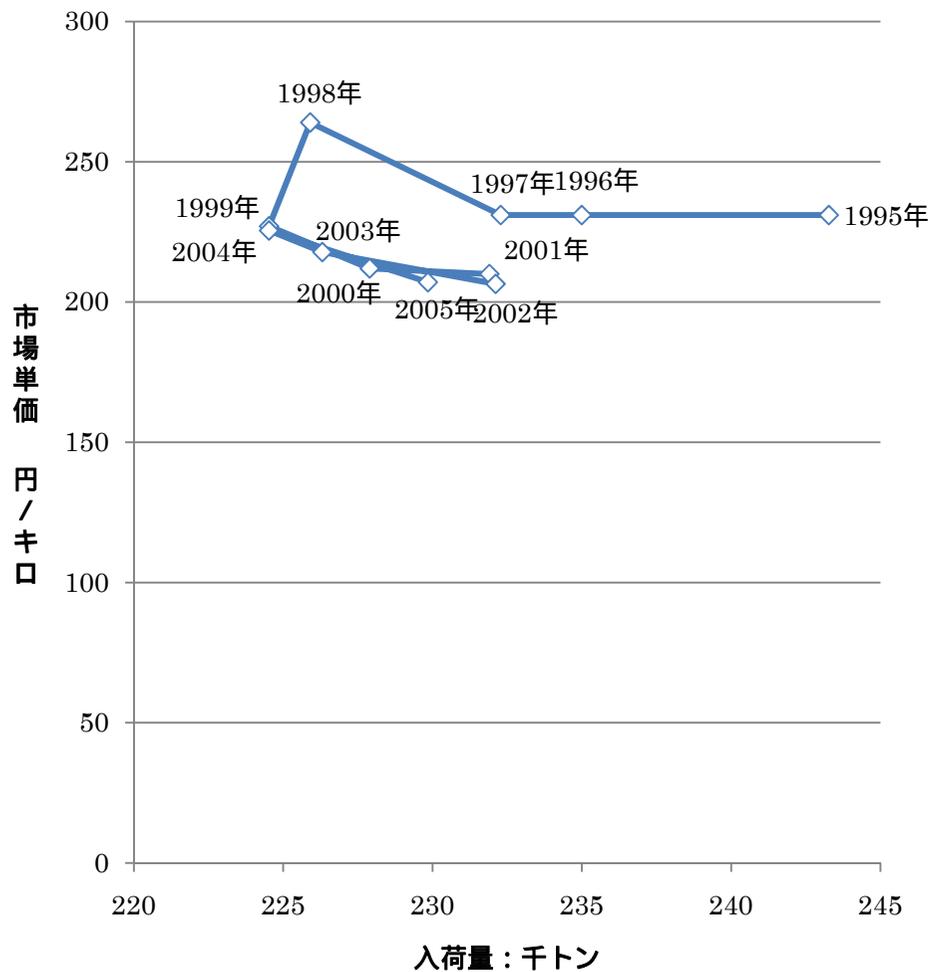
### ( 3 ) 商品価値競争力

野菜全体をひとつの品目としてみると,京都府産の商品価値競争力は高まっている。もっとも,これは京都府が重量単価の高い野菜へ出荷の比重を移していることも考えられるので確認が必要である。

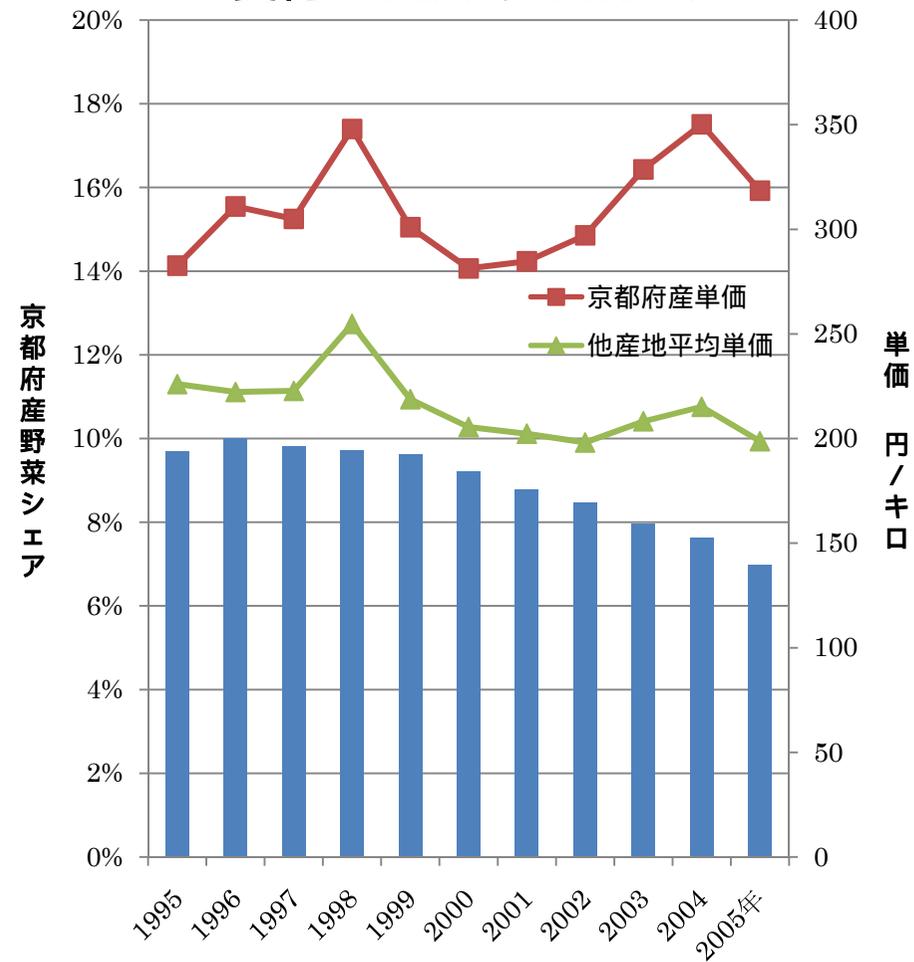
### ( 4 ) コスト競争力

京都府産野菜の重量単価は高まり,供給量が減ってきているから,京都府の野菜供給力は低下していることになる。他産地はその逆であり,京都府産のコスト競争力は低下している。

**野菜の需要動向**  
京都市中央卸売市場：各年平均



**京都府産野菜の商品価値競争力の変化：京都市中央卸売市場**



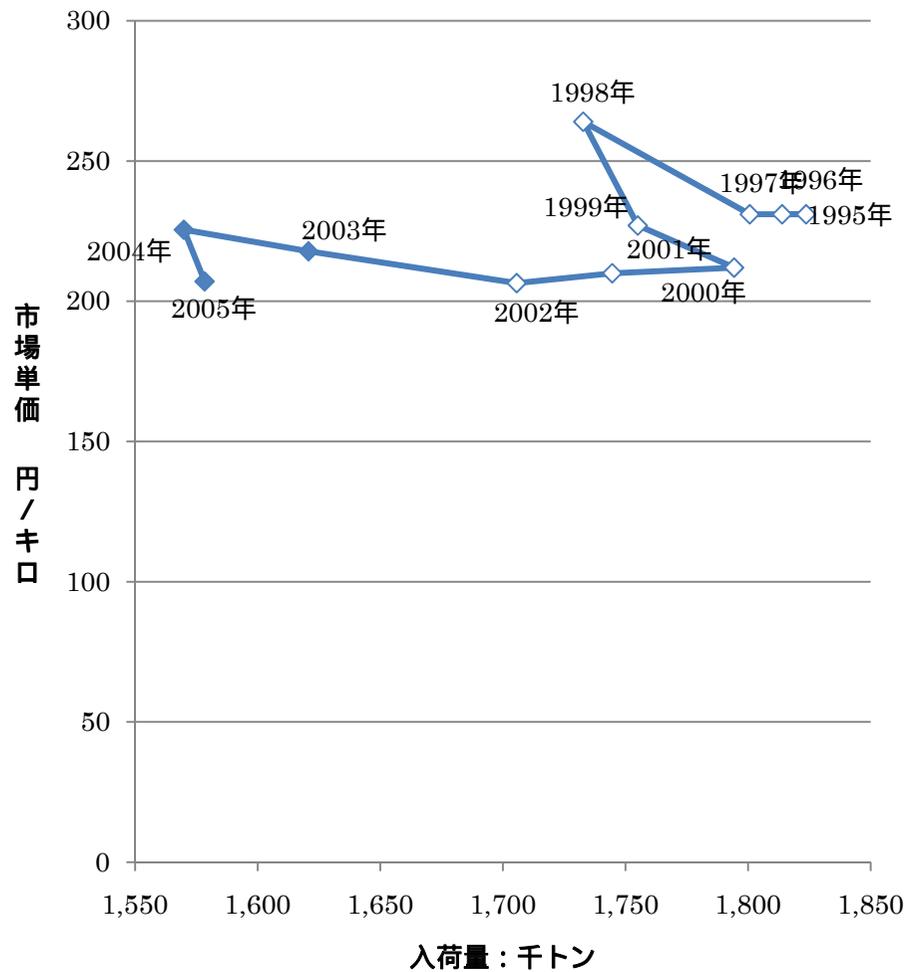
## ( 5 ) 東京都中央卸売市場の動き

東京都中央卸売市場の需要は、このところ一方的に減少傾向にあり、以前より 10%程度需要が喪失した。

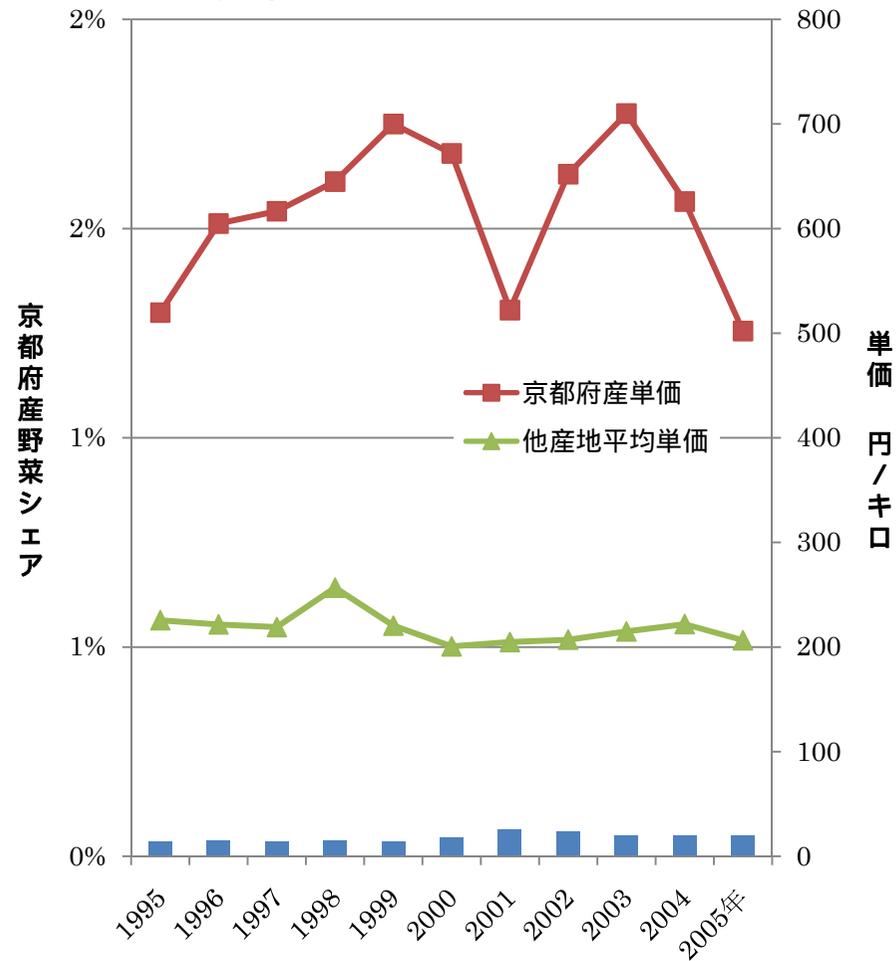
京都府産野菜の東京都中央卸売市場への出荷量は限られている。京都市中央卸売市場の出荷量の 3%弱であり、販売金額でも 5%弱水準である。出荷量シェアもごくわずかで、東京都中央卸売市場の野菜総出荷量の 0.5%程度である。

東京都へ出荷される京都府産の野菜は高単価品目が多く、市場平均が 200 円/kg 台であるのに対して、500～700 円/kg である。出荷量は年や品目によってまちまちで、安定していないが、明らかに差別化されており、商品価値競争力は春夏期を中心にやや高まっている。

### 野菜の需要動向 東京都中央卸売市場：各年平均



### 京都府産野菜の商品価値競争力の変化：東京都中央卸売市場



## 5 . 「京野菜」の市場動向

加茂ナスや，万願寺トウガラシ，青トウガラシの有望性がきわめて高いです。

切り水菜は，需要の伸びが非常に大きいのですが，量的にも商品価値でも他産地の追い上げが厳しく，京都府産がそれになんとか対抗している，というのが現状です。

菜の花も，需要の伸びが大きいのですが，その中で，京都府産の商品価値競争力が低下しています。

一方，青ネギの需要は減少しています。しかし，九条ネギの人気は高まっています。

金時ニンジンも需要は減少していますが，京都府産の商品価値競争力は高まっています。

以下，品目別に解説します。

### ( 1 ) 加茂ナス

加茂ナスは，ほぼ 100%を京都府が供給し，他産地の参入を許していません。需要は 7 割ほど増加しました。ここ 3 年は価格が上昇していますが，これは供給が需要に追いついていないからです。加茂ナスの普及は，技術的にむずかしいところがあると言われますが，他産地の技術力の差を保ったまま，いかに需要に対応した供給を行うかが課題といえるでしょう。

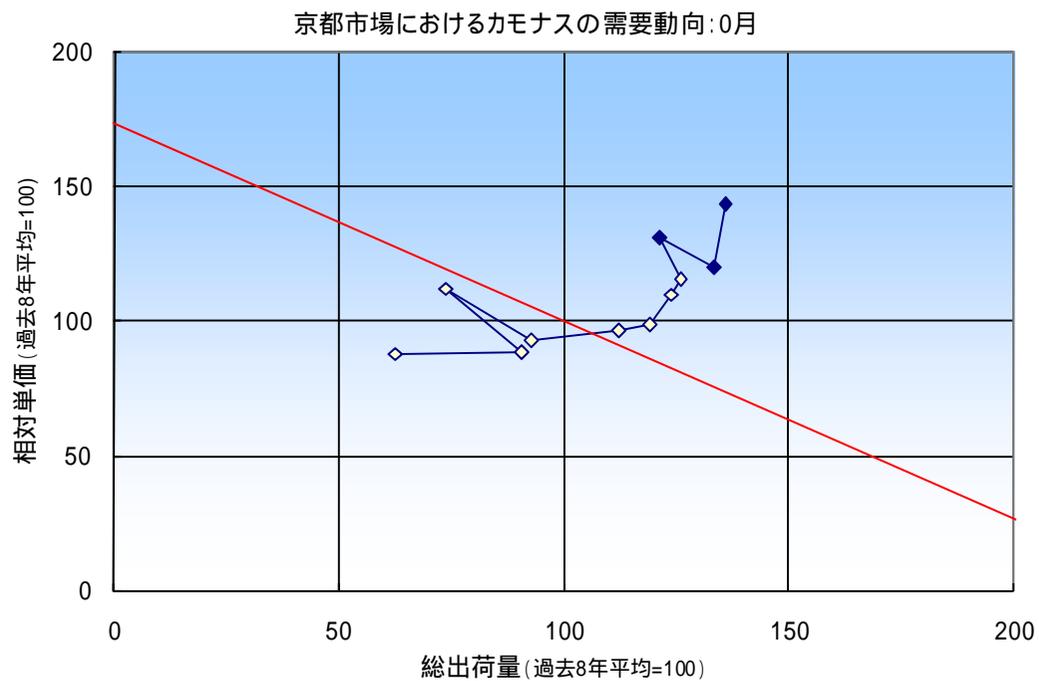
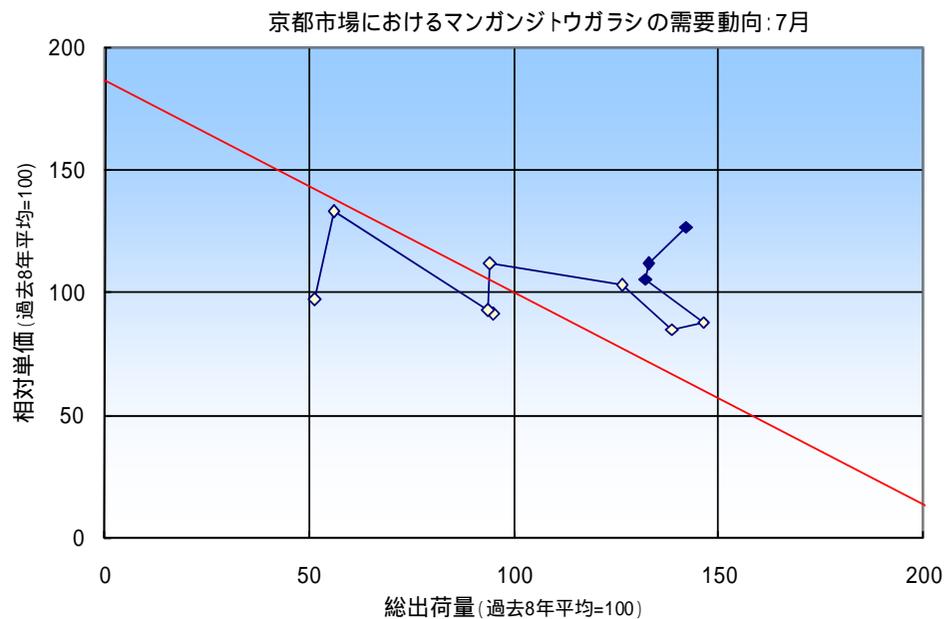


図 年計でみた加茂ナスの需要動向：赤線が過去の需要曲線ですが，出荷量と単価はほぼ右一直線に伸びており，需要が急に増加したことを示しています。

## (2) 万願寺トウガラシ

万願寺トウガラシの出荷最盛期は、7月を中心とした4ヶ月ほどですが、需要は、周年的に非常に大きな伸びを示しています。年計で71.9%伸びです。出荷の少ない月の伸びが当然大きくなりますが、最盛期の7月でも52.5%の伸びです。

かつては、万願寺トウガラシも他府県から1割程度入荷されていましたが、現在は、ほぼ100%京都府産で占められています。



図は7月の需要動向ですが、2001年頃、やや需要に頭打ちの傾向が見えます。これを機に、京都府産の出荷もやや減らしているようですが、再び価格が上昇しており、需要はさらに伸びていると考えられます。

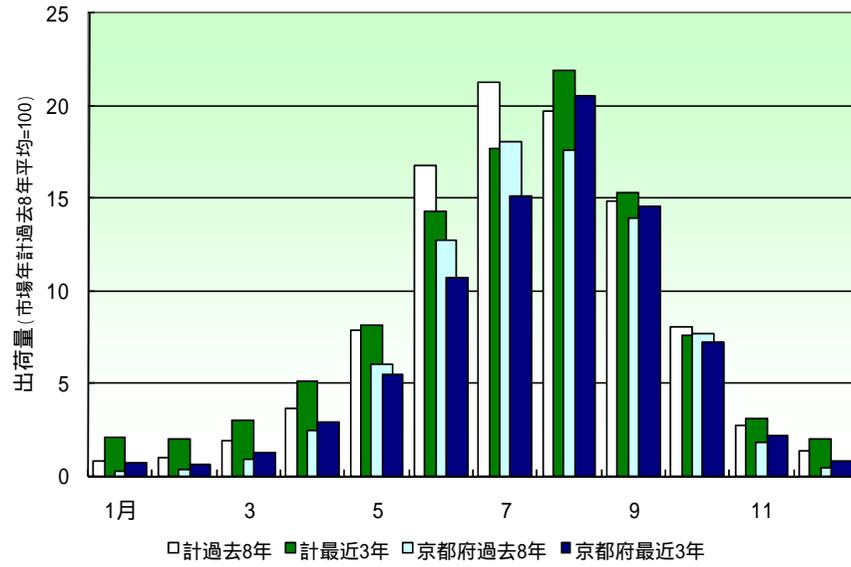
### (3) 青トウガラシ（伏見トウガラシを含む）

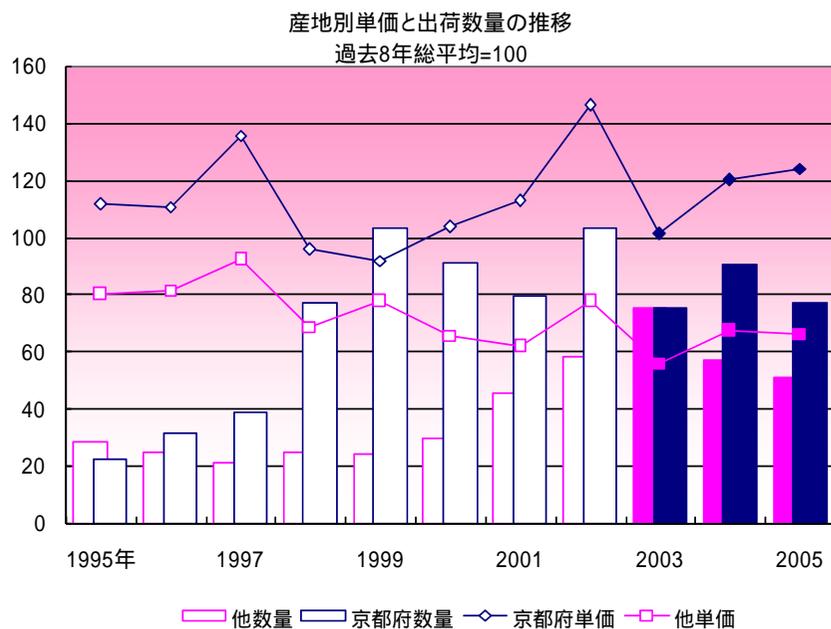
青トウガラシの需要は、加茂ナスや万願寺トウガラシほどではないですが、確実に増加しています。青トウガラシの入荷は、5～10月中心ですが、むしろその他の月の需要の増加が大きく、そうした時期の他産地との競争も生じています。

そうした中で、京都府産の商品価値競争力は高くなっています。1～4月期の他産地の平均単価はすでに低下傾向にありますが、京都府産はむしろ上昇しています。

ただし、それは京都府産への需要の高まりに対して、出荷が対応していないことでもあり、周年的安定供給をどう図るかが、課題といえるでしょう。

京都市場におけるアウトウガラスの月別出荷量



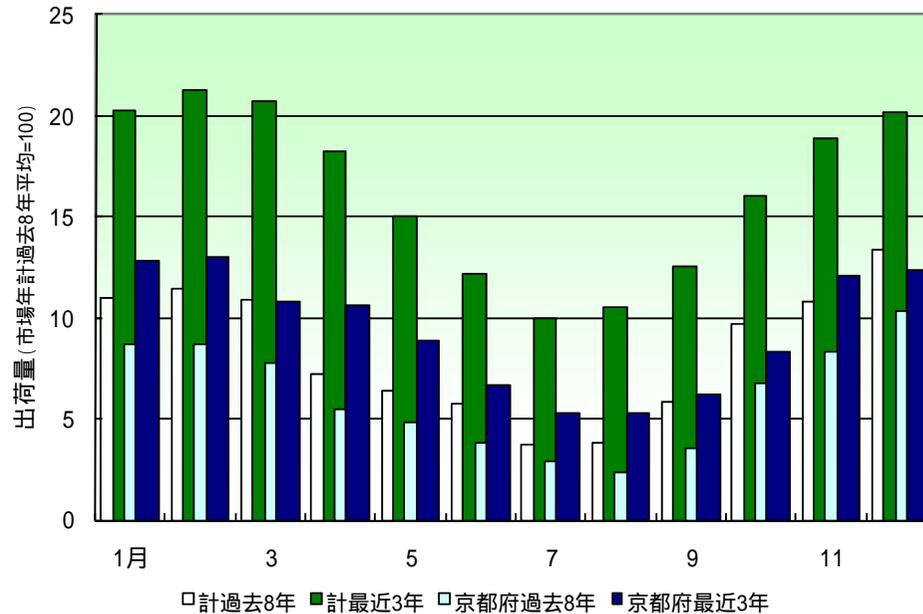


上図は4月の京都府産青トウガラシの出荷数量と単価，および他産地の出荷数量と単価の推移。

## (4) 切り水菜

切り水菜の需要の伸びは大きく，年計でほぼ倍増しています。ただし，ここで注意すべきなのは，その需要の伸び方です。かつては，冬場を中心とした鍋物需要だったのですが，最近はサラダ等で夏場にも食べられることが多くなりました。むしろ，こうした需要が切り水菜の需要の伸びを支えていると考えられます。その証拠に，一年を通じて，出荷量の伸びがほぼ同じです。

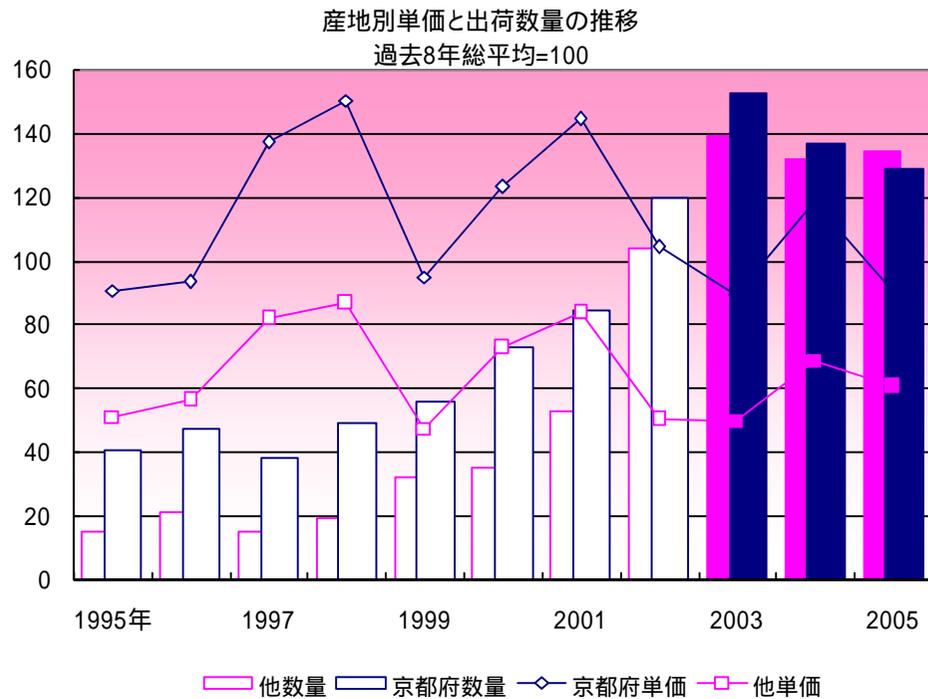
京都市場におけるキリミズナの月別出荷量



これは、切り水菜が、「京都の伝統的な食文化と結びついた野菜」という意味での「京野菜」でなくなりつつあることを意味します。切り水菜は、もはや一般野菜なのかもしれません。

そうした中で、京都の産地は大変苦労しているようです。切り水菜の入荷量は、京都府産も他産地も大きく伸びていますが、他産地の伸びがはるかに大きく、京都府産のシェアは減少しています。ただし、それでも単価の優位性はいまのところ維持されているので、京都府産切り水菜の商品価値競争力は、かろうじて保たれている維持されているといえるでしょう。

これほど切り水菜の需要が伸びたことで、消費者はこれから切り水菜の品質を厳しく評価することになります。現在の商品価値競争力が、半ば先駆者である京都府産の技術的優位性への期待に支えられていたかもしれませんが、もし、他産地のものと食感・食味が変わらないとなれば、この優位性はもろく崩れることになるでしょう。夏場の切り水菜は「筋っぽい」等の消費者の不満も聞かれるようになりました。これにどう対応していくかは、他の京野菜とは別の考え方で対応していく必要があるでしょう。



上図は、8月の京都府産と他産地産の出荷数量と単価の推移

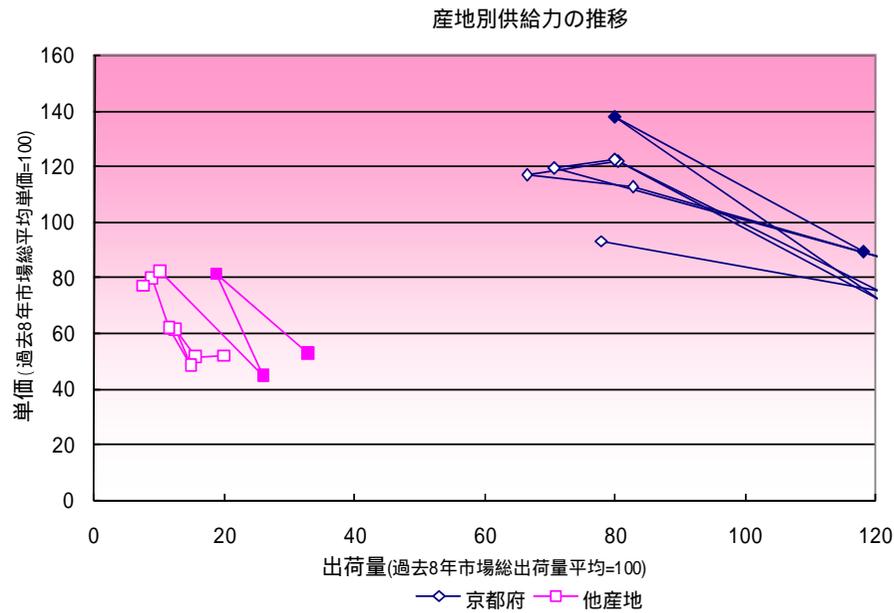
## ( 5 ) 菜の花 ( 花菜 )

菜の花の出荷は年によって変動が激しいのですが、需要は傾向的に伸びています。年計で 2 割強の伸びとなっています。特に、最盛期の 3~4 月の需要の伸びがしっかりしていることは、菜の花が季節的野菜として消費される傾向がより一層強まっていることを意味しています。これは他の野菜とは傾向を異にするところです。

4 月の京都府産花菜は、他産地の追い上げにもかかわらず、現在も 8 割ほどの出荷量シェアを維持しています。しかし、市場単価は、かつて京都府産花菜の方が 3 割ほど高かったのですが、他産地の単価が伸びてきており、その差は、現在は 2 割弱まで縮小しました。

花菜は、京野菜としての位置づけや食され方が、他の品目よりも一般に知られていない気がします。京野菜としての花菜のアピールが必要なのかもしれません。

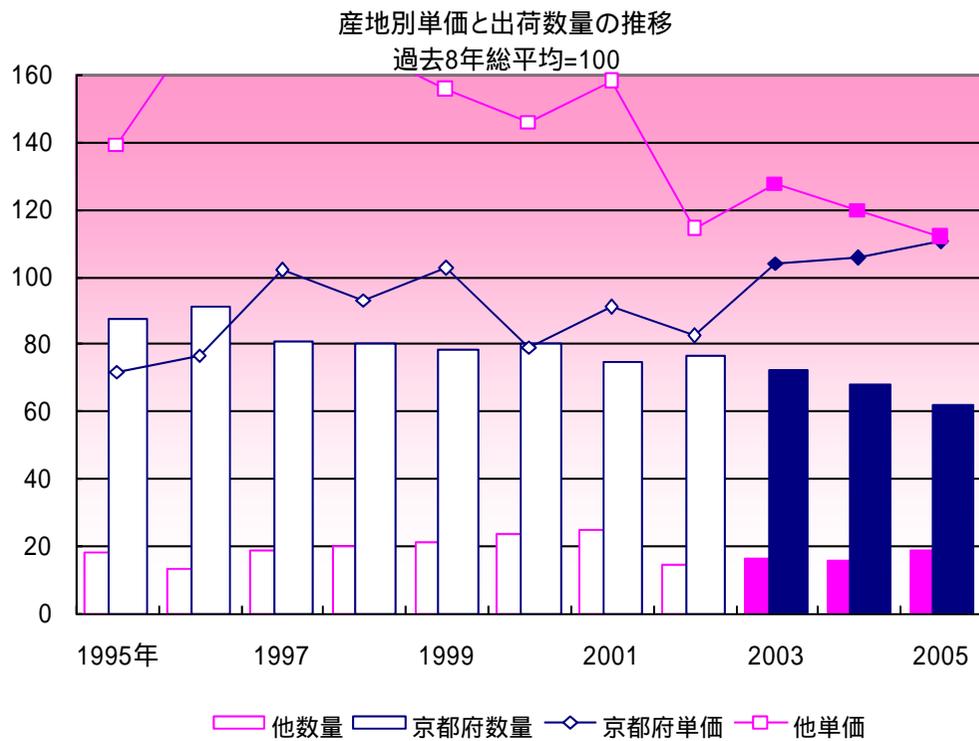
次の図は、4 月の京都府と他産地の供給の動きを示しています。



## (6) 青ネギ (九条ネギを含む)

市場統計が九条ネギを分離して集計していないので、九条ネギだけを分析できませんが、京都府は需要が減少する青ネギの中で、九条ネギに生産を集中させて、市場単価を維持・上昇させてきました。

青ネギは、ほぼ周年出荷で、そのうち7~9割が京都府産です。青ネギの需要は10月を除き、1割程度の減少です。特に4~8月の春夏の需要の減少が大きくなっています。



その中で、京都府産の青ネギは、出荷量を減らしながら、市場単価を上げてきました。一方、他産地は市場単価の下落とともに、出荷量を減らしています。

## ( 7 ) 一般野菜の動向

生産が一般野菜から京野菜へシフトするという傾向があるためか、一般野菜のコスト競争力の低下が目立ちます。需要の伸びている野菜のなかでは、トマトについて、京都府産のコスト競争力が低下しているのが気になります。しかも商品価値競争力も、やや停滞～低下傾向にあります。京野菜以外の品目のなかで、地場野菜として有利性が出しやすい品目だけに、特に夏場の雨よけ等で、対応策を探りたいところです。

また、生シイタケの需要の伸びが大きいのですが、京都府産の商品価値競争力が低下しているのが気になります。中国産生シイタケが低価格を武器に市場シェアを奪ってきましたが、商品価値協力においても国産生シイタケが低下しているのは重々注意すべきところです。

需要が低下する中で、商品価値競争力が低下している白いぼキュウリ、ホウレンソウに関しては、商品戦略の見直し、あるいは他品目への転換まで含めて考慮する時期に来ているのではないのでしょうか。

# 品目別市場動向

# 1. エントリーした品目

京都市中央卸売市場の出荷量の多い18品目を選定した。

青ネギ	切り水菜	ナス
青トウガラシ	金時ニンジン	菜の花
エダマメ	コマツナ	生シイタケ
大カブ	白いぼキュウリ	ホウレンソウ
加茂ナス	タケノコ	万願寺トウガラシ
キャベツ	トマト	水菜

品目名は『京都市中央卸売市場年報』の定義による。

## 2 . 需要動向

### ( 1 ) 需要が増加した品目

青トウガラシ 1-12月	トマト 1-4,6-12月
エダマメ 9-10月	菜の花 1,3,4,12月
加茂ナス 5-10月	生シイタケ 4-6 , 8-12月
切り水菜 1-3月 , 5-12月	万願寺トウガラシ 1-3,5-12月
金時ニンジン 3月	水菜 7-9月
タケノコ 5月	

### ( 2 ) 需要が減少した品目

青ネギ 1-9,11-12月	タケノコ 1-4月
大カブ 10,12月	ナス 6-7,11月
金時ニンジン 11-12月	ホウレンソウ 1-6,10,12月
コマツナ 4,8,12月	水菜 5,10月
白いぼキュウリ 7-8 , 10月	

### 3 . 商品価値競争力の動き

#### ( 1 ) 商品価値競争力が向上した品目

青ネギ 1-8,10-12月

青トウガラシ 1-4,6-7,9,12月

加茂ナス 5-10月

金時ニンジン 11月

タケノコ 1月

トマト 3月

万願寺トウガラシ 1-12月

水菜 1-3,7-10月

加茂ナスおよび万願寺トウガラシは、京都府がほぼ独占状態になったことによる判断。

#### ( 2 ) 商品価値競争力が低下した品目

大カブ 11月

キャベツ 1-2月

切り水菜 1,8月

コマツナ 5月

白いぼキュウリ 7月

トマト 6-7月

菜の花 1,3月

生シイタケ 6,8-12月

ハウレンソウ 1,3-4,9-12月

## 4 . コスト競争力の動き

### ( 1 ) コスト競争力が向上した品目

青トウガラシ 8月	ナス 6月
エダマメ 7-8月	水菜 2,4-7月
大カブ 11月	菜の花 1,4,12月
タケノコ 1-2,4月	

### ( 2 ) コスト競争力が低下した品目

青ネギ 4,7-8,10-12月	白いぼキュウリ 6-9,11月
青トウガラシ 3-6,10-11月	トマト 1-12月
エダマメ 10月	タケノコ 3月
大カブ 12月	トマト 1-12月
キャベツ 1-3,5-6,11-12月	ナス 7-10月
切り水菜 10,12月	生シイタケ 1-11月
金時ニンジン 1-3,11月	ホウレンソウ 2-8月
コマツナ 1-12月	

## 5 . 総括表

表3-1 総括表：京都市中央卸売市場における京都府産野菜の1995~2002年平均 2003~2005年平均の動き

	商品価値競争力低下	商品価値競争力不変	商品価値競争力向上
需要増加	切りみず菜 8月  トマト 6, 7月 菜の花 1,3月 生シイタケ 6, 8, 9, 10, 11,12月	青トウガラシ 5, 8月 エダマメ 9, 10月 切りみず菜 1,2,3,5,6,7,9, 10,11, 12 金時にんじん 3月 タケノコ 5月 トマト 1, 2, 4, 8, 9, 10, 11, 12月 菜の花 4, 12月 生シイタケ 4, 5月 みず菜 8月	青トウガラシ 1,2, 3, 4, 6,7,9, 10, 11,12月 賀茂なす 5, 6,7,8,9,10月  トマト 3月 万願寺とうがらし 1, 2, 3, 5, 6,7, 8,9,10,11, 12月  みず菜 7,9月
需要不変	大カブ 11月 キャベツ 1, 2月 コマツナ 5月 菜の花 2月 生シイタケ 2月 ホウレンソウ 9,11月	その他の品目	青ネギ 10月 みず菜 1, 2,3月
需要低下	白いぼキュウリ 7月  ホウレンソウ 1, 3, 4,10,12月	大カブ 10, 12月 金時にんじん 12月 コマツナ 4, 8, 12月 白いぼキュウリ 8,10月 タケノコ 2, 3, 4月 ナス 6, 7,11月 ホウレンソウ 2, 5, 6月 みず菜 5月	青ネギ 1,2,3, 4,5,6, 7, 8,9, 11, 12月 金時にんじん 11月  タケノコ 1月  みず菜 10月

凡例： コスト競争力が向上した， コスト競争力が低下した。

注：青トウガラシには伏見とうがらしを含む。菜の花には花菜を含む。青ネギには九条ねぎを含む。

加茂ナスや万願寺トウガラシといった京野菜の有望性がきわめて高いという結果となりました。同じ京野菜の切り水菜は、需要の伸びが非常に大きいのですが、商品価値における他産地の追い上げが強く、京都府産がそれになんとか対抗しているようです。

京野菜では、他に金時ニンジンや青ネギ（九条ネギが含まれる）がありますが、これは需要としては減少しています。しかし、いずれも京都府産の商品価値競争力は高まっています。

その他、有望な品目としては、青トウガラシがあります。青トウガラシは需要の伸びも京都府産の商品価値競争力の向上も申し分ないです。コスト競争力が低下していますが、これは市場単価の伸びに生産が対応できていないという意味合いです。

また、需要の伸びているトマトで、京都府産のコスト競争力の低下が目立ちます。しかも商品価値競争力がやや停滞～低下傾向にあります。京野菜以外の品目のなかで有利性が出しやすい品目だけに、対応策を探りたいところです。

同じく、菜の花と生シイタケの需要の伸びが大きいのですが、その中で、京都府産の商品価値競争力が低下しているのは気になるところです。

需要が低下する中で、商品価値競争力が低下している白いぼキュウリ、ハウレンソウに関しては、商品戦略の見直し、あるいは他品目への転換まで含めて考慮する時期に来ていると思われれます。

# 市場動向分析システム

# 1 . 付属 CD ROM の使い方

## ( 1 ) 内容

京都市中央卸売市場および東京都中央卸売市場の取引データとそれを分析するための市場動向分析システム( ©吉野章 ) が含まれています。

## ( 1 ) 利用環境

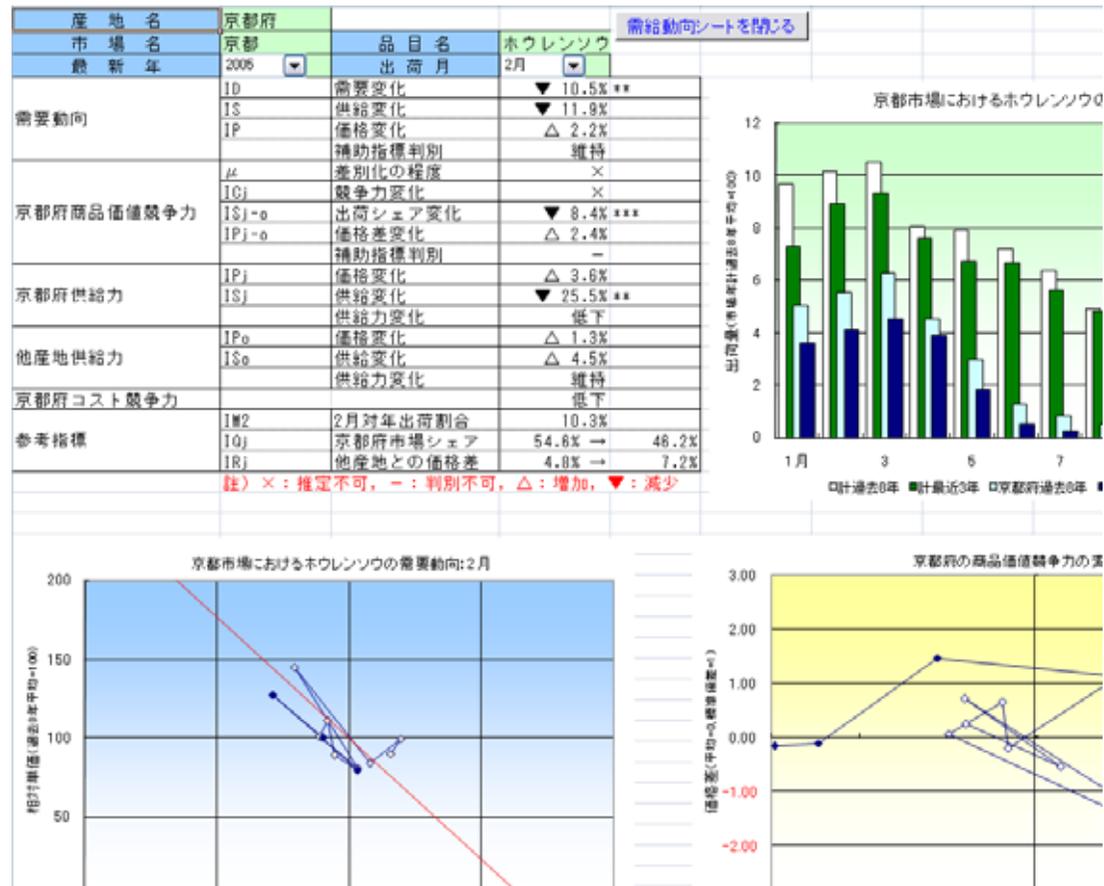
ご利用のパソコンが CD-ROM ドライブを備え , Windows XP 以上の OS で , Excel2003 以上がインストールされていることが必要です。

## ( 2 ) 利用手順

1. 付属 CD-ROM をご利用のパソコンの CD-ROM ドライブに挿入してください。
2. Excel を起動します。
3. メニュー「ファイル」から「開く」を選択し , CD-ROM のドライブ ( 例 : D: ) にある「Main.xls」を開いてください。  
**重要!** 必ずこの手順を踏んでください。ダブルクリック等で直接「Main.xls」を開くと , ファイル指定がうまくいきません。
4. 環境によっては , マクロの利用についての警告メッセージが出る場合があります。その場合はマクロを有効にしてください。
5. 次のような画面が開きますので , 市場動向を見たい品目の月を選択してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
1																				
2	産地名	京都府		品目追加				シートクリア				EXCEL終了					操作説明			
3																				
4	No.	市場名		品目名		最新年	月												印刷	
5	1	京都	File	京都野菜計	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表
6	2	京都	File	ミズナ	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表
7	3	京都	File	ホウレンソウ	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表
8	4	京都	File	ナノハナ	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表
9	5	京都	File	トマト	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表
10	6	京都	File	白イボキュウ	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表
11	7	京都	File	金時にんじん	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表
12	8	京都	File	キャベツ	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表
13	9	京都	File	オオカブ	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表
14	10	京都	File	マンガンジト	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表
15	11	京都	File	ナマシイタケ	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表
16	12	京都	File	ナス	File	2005	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計表

6. すると次のような出力結果が得られます。



出力は、ひとつの表と7つのグラフです。出力例は、2月のハウレンソウの市場動向ですが、これによって、需要動向と、京都府産ハウレンソウの商品価値競争力ならびにコスト競争力の変化が識別されます。具体的な見方は、次に解説します。

### (3) 参考指標の見方

需要や競争力の動きを見る前に、まず、参考指標を見てください。IMには、当該月の総出荷量が年間総出荷量の何%に当たるかという数値が出ています。2月のハウレンソウは10.3%で、いつもの月より多く出荷されています。これを見るとその月が対象品目の出荷最盛期かどうかわかります。これが1%といった具合に、極端に少ない場合は、出荷が傾向的に行われず、すべての分析の信頼性が低下しますので、注意してください。

また、IQjには、京都府産の出荷量シェアが「以前」と「現在」の両方について表示されます。2月の京都府産ハウレンソウは、以前は54.6%の出荷量シェアを占めていましたが、現在は46.2%にまで低下しています。この値が1%程度と極端に小さい場合は、商品価値競争力とコスト競争力の分析の信頼性が低下しますので、その場合は需要分析のみの情報を利用してください。

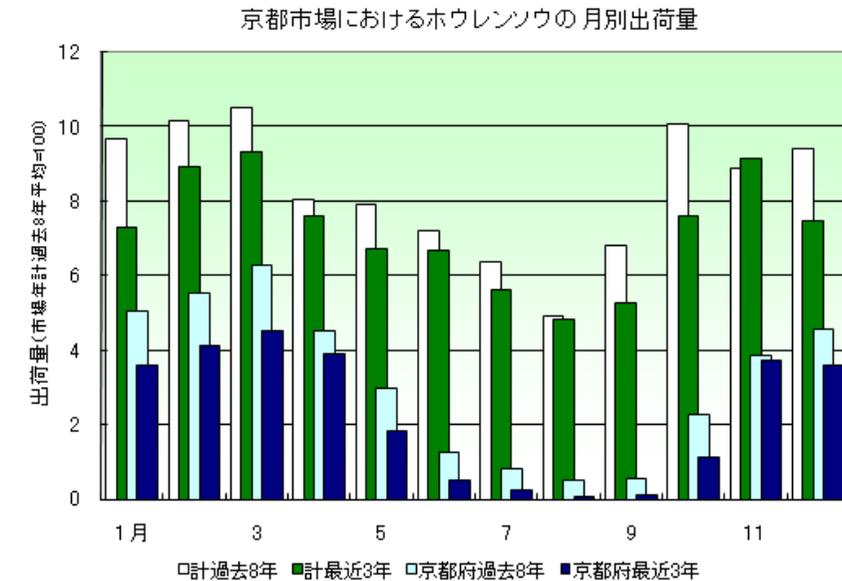
そして、IPjには、京都府産の他産地産に対する重量単価の差が「以前」と「現在」の両方について表示されます。2月の京都府産ハウレンソウの重量単価は、以前は他産地産に比べて4.8%高かったが、現在は7.2%高となっていることを示します。

ここで「現在」とは「最新年」以前の3年間平均、「以前」とはそれ以前の8年平均を指します。例の場合、最新年が2005年ですので、「現在」は2003~2005年平均、「以前」は1995~2002年平均ということになります。なお、年間の品目総出荷量と京都府産出荷量が、緑色のグラフで表示されます。

産地名	京都府	品目名	ハウレンソウ	需給動向
市場名	京都	出荷月	2月	
最新年	2005			
需要動向	ID	需要変化	▼ 10.5% **	
	IS	供給変化	▼ 11.9%	
	IP	価格変化	△ 2.2%	
		補助指標判別	維持	
京都府商品価値競争力	μ	差別化の程度	×	
	ICj	競争力変化	×	
	ISj-o	出荷シェア変化	▼ 8.4% ***	
	IPj-o	価格差変化	△ 2.4%	
京都府供給力		補助指標判別	-	
	IPj	価格変化	△ 3.6%	
	ISj	供給変化	▼ 25.5% **	
		供給力変化	低下	
他産地供給力	IPo	価格変化	△ 1.3%	
	ISo	供給変化	△ 4.5%	
京都府コスト競争力		供給力変化	維持	
参考指標	IM2	2月対年出荷割合	10.3%	
	IQj	京都府市場シェア	54.6% → 46.2%	
	IPj	他産地との価格差	4.8% → 7.2%	

注) ×: 推定不可, -: 判別不可, △: 増加, ▼: 減少

トを閉じる



以前のハウレンソウの年間の出荷量合計を 100 とした場合に、各月の総出荷量と京都府産出荷量の割合が、以前と現在の両方について表示されています。

2月のハウレンソウの出荷量は周年的に減ってきているが、より周年出荷の方向に向かっているようで、このうち、京都産は、冬春期に平準化、夏秋期に後退という形で、出荷量が減っていることがわかります。

## (4) 需要動向の見方

需要動向を知るには、まず ID の値を見ます。この数値の横に、\*印がひとつでも付いている場合は、明らかに需要に変化があったことを示しています。もし、\*がひとつも付いていなければ、たとえ、そこそこの変化があったとしても、それはたまたま単発的な要因で生じた変化である可能性が高いです。

\*印がひとつでもついているれば、ID の値を見ます。ID の値が 10.0%であれば、需要が 10%増加したと考えてください。逆に 10.0%であれば、需要が 10.0%減少したことを示します。ちなみに、需要が 10%増加したら、出荷量が 10%増加しても価格が低下しません。逆に需要が 10%減少したら出荷量が 10%減少しなければ価格は維持できないことを意味します。

2月のハウレンソウは、ID の数値の横に \*印がついて、10.5%とあるので、その需要は 10.4%減少したことになります。

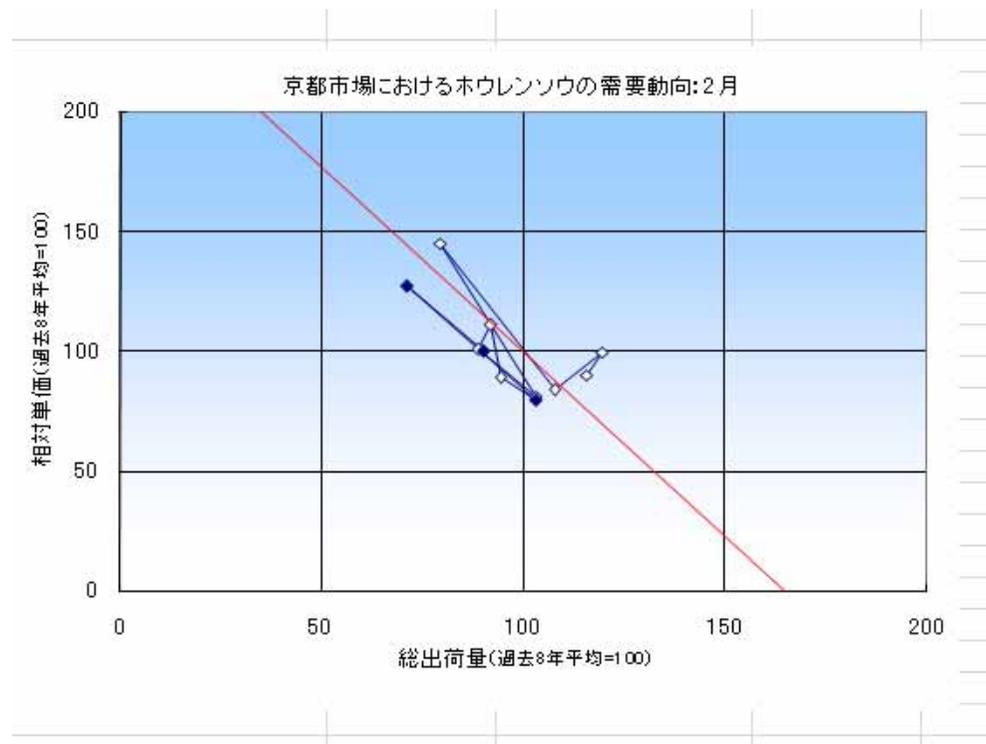
しばしば、ID のところに×印がつくことがあります。これは、変化が急激すぎたり、逆にほとんど動かなかったりして、需要の変化がうまく識別できなかった場合です。その場合は補助指標による判別を見てください。

ID による需要動向の判定と補助指標による判別が異なる場合は、ID の方を信用するようにしてください。

2月のハウレンソウは、補助指標では維持となっていますが、出荷量の変化を見る限り限りなく減少に近いです。需要動向は、青のグラフで確認してください。

産地名	京都府	品目名	ハウレンソウ	供給動向	
市場名	京都	出荷月	2月		
最新	2005				
需要動向	ID	需要変化	▼ 10.5% **		
	IS	供給変化	▼ 11.9% **		
	IP	価格変化	△ 2.2%		
		補助指標判別	維持		
京都府商品価値競争力	M	差別化の程度			
	ICj	競争力変化	×		
	ISj-o	出荷シェア変化	▼ 8.4% ***		
	IPj-o	価格差変化	△ 2.4%		
京都府供給力		補助指標判別	-		
	IPj	価格変化	△ 3.6%		
	ISj	供給変化	▼ 25.5% **		
他産地供給力		供給力変化	低下		
	IPo	価格変化	△ 1.3%		
	ISo	供給変化	△ 4.5%		
京都府コスト競争力		供給力変化	維持		
	IM2	2月対年出荷割合	10.3%		
参考指標	IQj	京都府市場シェア	54.6% → 46.2%		
	IRj	他産地との価格差	4.8% → 7.2%		

注) ×: 推定不可, -: 判別不可, △: 増加, ▼: 減少



需要は、総出荷量と単価の関係で判断します。赤い線は以前の「需要曲線」というもので、総出荷量が決まるとこの線に応じて市場価格が決まることとなります。現在（最新3年）の動きは、青い点で示されています。これはら需要曲線よりも左に来ていますので、需要は減少していることとなります。

ただし、価格は野菜全体の相場の影響を除くために、同年同月の野菜の総平均単価で割ってあるので注意してください。

価格と出荷量の動きを示したグラフは、もうひとつの青いグラフですので、そちらも参考にしてください。

## (5) 商品価値競争力の見方

商品価値競争力の動きを見るときには、まず  $\mu$  を見てください。このうち、 $\mu$  は差別化がはっきり現れているかどうかを判断します。商品価値競争力は、商品差別化がなされていないと意味を持ちません。 $\mu$  の値の横に \* 印がひとつでも付いていれば差別化されている可能性が高いです。

もし、差別化されていたら、次に ICj を見てください。ICj の値の横に \* 印がひとつでも付いていれば、商品価値競争力に変化があったことを示します。ICj の値に \* が付いていれば商品価値競争力が高まったことを意味します。ICj の値に - が付いていれば、商品価値競争力が低下したことを意味します。

ただし、変化があまりなかったり、逆に変化が急激すぎたりする場合は、 $\mu$  と ICj の判断ができない場合があります。その場合は、これらに x 印がつきます。その場合は、補助指標による判定を見てください。

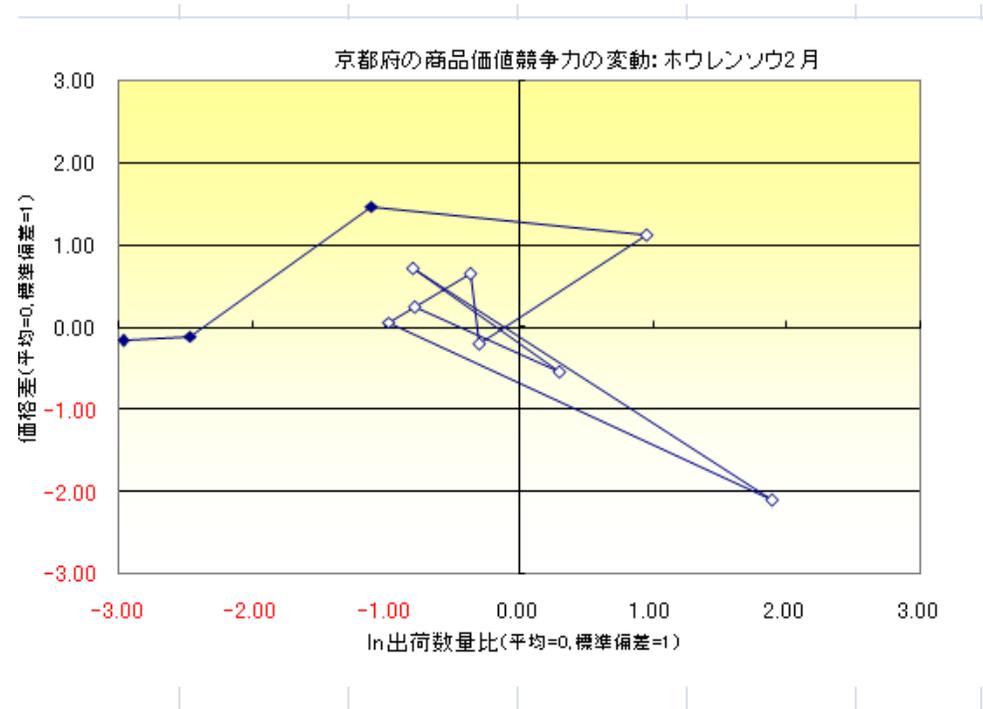
ICj と補助指標判別が食い違うときは、ICj の方を信用してください。

2月のハウレンソウの場合、 $\mu$  がうまく識別されていません。次のグラフを見ても、ハウレンソウに関しては、京都府産は他産地とあまり差別化がなされていないようです。補助指標を見ても、京都府産の出荷量の減少をそのまま他産地が補完している形となっており、商品価値競争力についてはあまり意味がないようです。

商品価値競争力の動きは、黄色のグラフで確認してください。

産地名	京都府	品目名	ハウレンソウ	需給動向
市場名	京都	出荷月	2月	
最新年	2005			
需要動向	ID	需要変化	▼ 10.5% **	
	IS	供給変化	▼ 11.9%	
	IP	価格変化	△ 2.2%	
京都府商品価値競争力	$\mu$	補助指標判別	-	
	ICj	差別化の程度	x	
	ISj-o	出荷シェア変化	▼ 8.4% ***	
	IPj-o	価格差変化	△ 2.4%	
京都府供給力	IPj	補助指標判別	-	
	ISj	供給変化	▼ 25.5% **	
		供給力変化	低下	
他産地供給力	IPo	価格変化	△ 1.3%	
	ISo	供給変化	△ 4.5%	
		供給力変化	維持	
京都府コスト競争力			低下	
参考指標	IM2	2月対年出荷割合	10.3%	
	IQj	京都府市場シェア	54.6% → 46.2%	
	IRj	他産地との価格差	4.8% → 7.2%	

注) x: 推定不可, -: 判別不可, △: 増加, ▼: 減少



商品価値競争力の動きは、京都府産と他産地産との出荷数量の比と価格差の動きで見ることができます。2月のホウレンソウの場合、ほとんど差別化の形跡がなく、グラフに表示されていませんが、差別化されている品目なら、グラフに右下がりの赤い直線が表示されます。これが以前の商品価値競争力の水準で、それと比べて現在の3点(青い点)が右側に位置すれば、商品価値競争力は高まったことになり、左側にあれば商品価値競争力は低下したことになります。2月のホウレンソウのように差別化されていない出荷量シェアが変動するならば、右下がりの異動が少なく横の移動が多くなるだけです。

出荷量シェアと価格差の変化を別々に確認するには、もうひとつの黄色のグラフをご覧ください。

## (6) コスト競争力の見方

コスト競争力の変化を見るには「京都府コスト競争力」の判定結果を見てください。ここで言うコスト競争力とは、京都府の供給力と他産地の供給力の動きの違いから間接的に判断しているので、直接コストを測っているわけではありませんので注意してください。

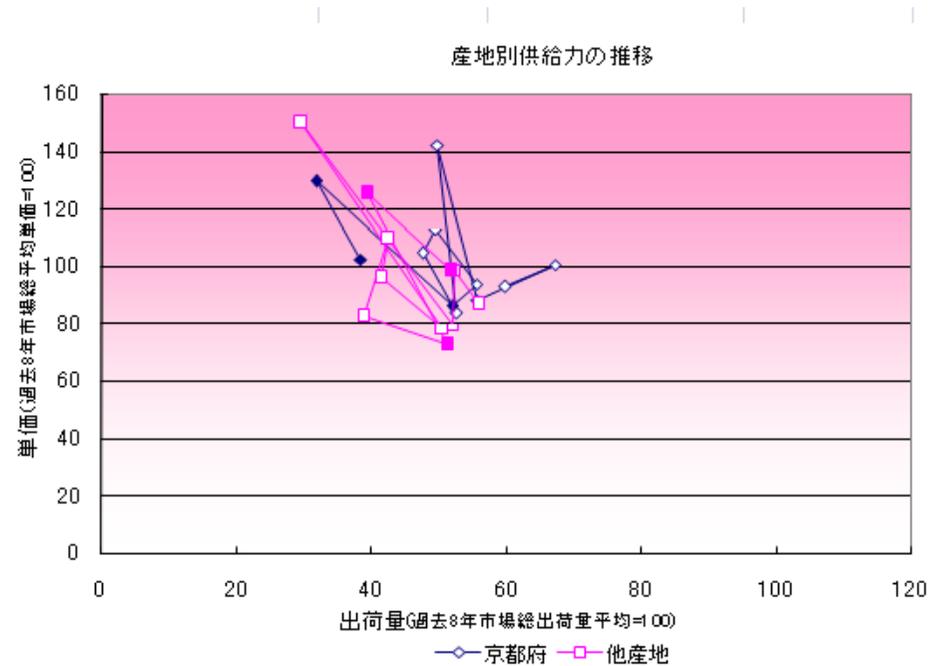
供給力は、価格の動きに対して、出荷量がどう反応するかで判断しています。価格が下がっていないのに、出荷量が縮小しているのは、供給力の低下です。一方、価格が上がっていないのに、出荷量が増えているのは供給力の向上です。

京都府の供給力が上がって、他産地の供給力が一定以下なら、京都府のコスト競争力は高まったこととなります。逆に、京都府の供給力が一定以下でも、他産地の供給力が上がっていれば、京都府のコスト競争力は高まったこととなります。

2月のハウレンソウの場合、京都府産のコスト競争力は、低下しています。これは、京都府の供給力が低下しているのに対して、他産地の供給力は維持されているからです。2月のハウレンソウについては、京都府産も他産地産も価格に大きな変化はありません。にもかかわらず、京都府産のみの出荷が25.5%も低下しています。その様子は、赤いグラフで確認することができます。

産地名	京都府	品目名	ハウレンソウ
市場名	京都	出荷月	2月
最新年	2005		
需要動向	ID	需要変化	▼ 10.5% **
	IS	供給変化	▼ 11.9% **
	IP	価格変化	△ 2.2%
京都府商品価値競争力		補助指標判別	維持
	ICj	差別化の程度	×
	ISj-o	競争力変化	×
	ISj-o	出荷シェア変化	▼ 8.4% ***
京都府供給力	ISj	価格変化	△ 2.4%
	IPj	補助指標判別	維持
	ISj	価格変化	△ 3.6%
他産地供給力	ISj	供給変化	▼ 25.5% **
	IPo	供給力変化	低下
	ISo	価格変化	△ 1.3%
京都府コスト競争力	ISo	供給変化	△ 4.5%
	ISo	供給力変化	維持
参考指標	IM2	2月対年出荷割合	低下
	IRj	京都府市場シェア	54.8% → 46.2%
	IRj	他産地との価格差	4.8% → 7.2%

注) ×: 推定不可, -: 判別不可, △: 増加, ▼: 減少



供給力は、出荷量と単価の対応で判断します。青線で示される京都府産が、単価が大きく下がったわけでもないのに、出荷量を減らしている様子が分かります。

京都府と他産地の出荷量と単価の推移を別々に確認したい場合は、もうひとつの赤いグラフを見てください。

# 品目別解説

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	京都野菜計

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月													
需要動向	ID	需要変化																										
	IS	供給変化	2.0%	1.8%	1.2%	4.2% **	1.5%	4.0% *	3.8% *	1.4%	1.9%	2.4%	4.2%	3.3%	2.8% *													
	IP	価格変化																										
		補助指標判別																										
京都府商品価値競争力	μ	差別化の程度	0.31	0.69	1.77 **	0.15	1.13 ***	0.02	0.53 **	1.13 ***	×	0.96 ***	1.35 **	0.96 **	1.08 *													
	ICj	競争力変化	×	×	4.5	×	1.7	×	4.2	23.9 **	×	4.7	6.8	20.4	3.2													
	ISj-o	出荷シェア変化	1.9% ***	0.7% **	0.9% ***	0.7% ***	1.7% **	3.6% ***	2.5% ***	2.8% ***	2.2% ***	1.5% **	1.9% ***	1.9% **	1.9% ***													
	IPj-o	価格差変化	21.0% ***	23.8% ***	33.3% **	41.2% **	30.6% **	25.6% ***	10.5% *	19.3% **	16.0% **	28.6% ***	33.1% **	5.1%	18.3% **													
		補助指標判別																										
京都府供給力	IPj	価格変化	15.1% ***	15.9% ***	19.9% **	22.6% **	18.0% **	22.6% ***	8.8% *	13.5% **	11.5% **	17.9% ***	19.3% **	4.1%	14.4% **													
	ISj	供給変化	21.7% ***	10.5% **	14.4% **	18.5% ***	25.6% **	31.4% ***	21.4% ***	22.6% ***	18.3% ***	18.8% **	30.9% ***	20.3% **	18.8% ***													
		供給力変化	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下													
他産地供給力	IPo	価格変化	0.9% **	1.5% **	1.3% *	1.4% **	0.7%	2.1% ***	1.0% *	0.8%	0.7%	0.9% *	0.3%	0.1%	1.5% *													
	ISo	供給変化	0.0%	1.0%	0.3%	3.5% *	0.3%	0.1%	1.0%	1.8%	4.4%	4.1%	2.2%	1.2%	0.8%													
		供給力変化	増大	増大	増大	-	維持	増大	増大	維持	維持	増大	維持	維持	増大													
京都府コスト競争力		低下	低下	低下	-	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下														
参考指標	IM6	6月対年出荷割合	100.0%	6.9%	7.3%	8.0%	8.5%	9.0%	8.4%	8.0%	8.4%	9.1%	9.3%	8.3%	8.9%													
	IQj	京都府市場シェア	9.4%	7.5%	8.0%	7.3%	6.4%	5.6%	4.8%	4.1%	6.8%	5.1%	12.5%	8.9%	13.5%	11.0%	12.9%	10.1%	10.9%	8.8%	7.4%	5.9%	6.9%	4.9%	10.8%	8.9%	11.4%	9.5%
	IRj	他産地との価格差	36.6%	57.7%	44.4%	68.2%	65.3%	98.7%	80.4%	121.6%	70.7%	101.4%	4.3%	30.0%	9.5%	20.0%	42.9%	62.2%	37.3%	53.3%	59.5%	88.0%	75.8%	108.9%	24.8%	29.9%	19.3%	37.6%

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	アオネギ

	出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月													
需要動向	ID 需要変化	×	×	×	×	×	×	×	×	29.8% ***	17.0% ***	0.7%	×	×													
	IS 供給変化	16.1% ***	8.3% *	9.0% *	16.4% ***	20.4% ***	23.8% ***	28.1% ***	20.9% ***	25.6% **	9.5%	9.1%	9.5% **	10.9% **													
	IP 価格変化	9.0%	2.0%	18.3%	16.3%	15.7%	4.4%	13.2%	9.1%	3.6%	29.0%	21.9%	2.3%	0.8%													
	補助指標判別	減少	減少	減少	減少	減少	減少	減少	減少	減少	減少	維持	維持	減少	減少												
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	×	×	1.16	×	0.31	0.43	×	×	0.22	#VALUE! #VALUE!	0.96 *	1.24 **	0.77													
	ICj 競争力変化	×	×	×	×	×	×	×	×	×	#VALUE! #VALUE!	13.0	17.0 **	×													
	ISj-o 出荷シェア変化	0.8%	5.6% **	3.0%	3.3% *	0.3%	2.8%	0.1%	2.5%	8.8%	7.8% #NUM!	8.0% *	1.8%	0.5%													
	IPj-o 価格差変化	54.9% ***	52.6% **	57.9% **	83.4% ***	88.3% ***	76.4% ***	88.4% ***	70.3% ***	46.9% ***	79.7%	46.2% **	59.4% **	89.2% **													
京都府供給力	補助指標判別	上昇	上昇	上昇	上昇	上昇	上昇	上昇	上昇	上昇	#VALUE!	-	上昇	上昇													
	IPj 価格変化	22.2% **	7.0%	28.3%	32.9% **	33.7% *	21.1%	38.6% **	8.0%	9.9%	454.8%	31.4%	7.4%	14.8%													
	ISj 供給変化	16.9% ***	2.4%	5.8%	13.1% ***	20.1% ***	21.1% **	28.1% ***	23.5% **	34.5% **	18.9%	18.0% **	11.4% **	10.3% ***													
他産地供給力	供給力変化	低下	維持	維持	低下	低下	低下	低下	低下	低下	維持	低下	低下	低下													
	IPo 価格変化	22.9% **	28.1% **	21.0% *	34.6% **	39.9% **	37.3% **	33.7% **	37.2% **	26.7% **	7.9%	11.8%	33.8% **	43.5% **													
	ISo 供給変化	12.3%	43.9% ***	28.8% **	33.5% **	21.9%	34.5% *	27.7% *	12.6%	1.2%	19.0%	31.6%	0.4%	14.1%													
京都府コスト競争力	供給力変化	増大	-	-	-	増大	-	-	増大	増大	維持	維持	増大	増大													
	コスト変化	低下	-	-	-	低下	-	-	低下	低下	維持	低下	低下	低下													
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	8.8%	8.6%	8.7%	6.9%	7.9%	7.1%	8.1%	7.9%	8.0%	9.0%	8.9%	10.1%													
	IQj 京都府市場シェア	81.0%	80.2%	85.6%	91.2%	86.0%	89.0%	83.9%	87.2%	82.0%	82.3%	80.1%	82.9%	78.9%	78.8%	76.3%	73.8%	73.2%	64.4%	75.4%	67.6%	82.1%	74.0%	83.7%	82.0%	84.8%	85.3%
	IRj 他産地との価格差	-67.9%	-13.0%	-75.4%	-22.8%	-60.0%	-2.0%	-67.0%	16.4%	-53.0%	35.3%	-67.6%	8.8%	-86.0%	2.3%	-93.2%	-22.9%	-61.3%	-14.4%	-93.2%	-13.5%	-61.7%	-15.5%	-65.4%	-6.1%	-87.2%	1.9%

**概要** 青ネギは、ほぼ周年出荷で、そのうち7～9割が京都府産である。その割合は、月にもよるが、ほとんど変わっていない。重量単価は、以前は年平均で7割近く安かったが、現在は13%安となっている。

**需要動向** 青ネギの需要は10月を除き、1割程度の減少である。特に4～8月の春夏の需要の減少が大きい。

**商品価値競争力** 京都府産の商品価値競争力は周年的に上昇している。京都府産の青ネギは、出荷量を減らしながら、市場単価を上げてきた。一方、他産地は市場単価の下落とともに、出荷量を減らしている。

**コスト競争力** 他産地は、価格低下にもかかわらず、秋冬期の供給量の減少は少ない。一方、京都府産は価格は低下していないが、出荷量は減少しているから、コスト競争力としては、低下傾向である。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	アトウガラシ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月													
需要動向	ID	需要変化	19.5% ***	167.4% **	123.4% **	×	×	36.2% ***	20.2% ***	9.2% *	×	×	35.8% ***	120.4% ***	221.6% ***													
	IS	供給変化	2.3%	148.4% ***	92.8% ***	59.3% **	41.6% *	3.9%	15.1% **	16.9% ***	11.1% *	3.0%	6.1%	15.2%	49.9%													
	IP	価格変化	19.7% **	3.7%	7.2%	4.7%	6.9%	14.8% **	27.1% ***	19.7% **	1.8%	21.0% **	60.8% ***	76.1% ***	73.8% ***													
		補助指標判別	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	-	-	増大	増大	増大	増大	増大												
京都府商品価値競争力	μ	差別化の程度	1.14 ***	×	0.83	1.65 **	0.58 *	0.72	0.11	0.26	×	0.50 ***	×	2.04 ***	1.80													
	ICj	競争力変化	10.0 ***	×	×	8.3 ***	6.0 ***	×	×	×	×	23.0 **	×	21.4 ***	×													
	ISj-o	出荷シェア変化	1.8%	1.1%	0.0%	6.1%	11.1%	8.6% ***	0.5%	0.9%	4.2% **	1.6%	0.6%	3.2%	8.6%													
	IPj-o	価格差変化	15.1% *	68.2% **	59.2% **	26.7% *	14.0%	25.0% ***	29.1% ***	12.2% **	11.2%	8.4%	39.2% *	92.0% **	178.5% ***													
	補助指標判別	上昇	上昇	上昇	上昇	維持	-	上昇	上昇	-	維持	上昇	上昇	上昇	上昇													
京都府供給力	IPj	価格変化	22.4% **	37.1%	27.0% *	7.5%	1.4%	23.6% ***	32.3% ***	20.0% **	4.8%	20.8% **	63.2% ***	81.6% **	107.5% ***													
	ISj	供給変化	0.0%	156.0% **	93.0% *	38.9%	18.5%	7.8%	15.7% **	16.1% **	16.3% *	4.8%	6.6%	20.6%	89.8% **													
		供給力変化	低下	増大	-	維持	維持	低下	低下	低下	増大	低下	低下	低下	-													
他産地供給力	IPo	価格変化	8.1% *	25.3% **	23.8% ***	21.6% **	16.4% **	0.2%	6.1%	12.4%	10.9%	16.5% *	19.0%	0.7%	6.8%													
	ISo	供給変化	12.5%	144.1% ***	92.7% ***	78.1% **	90.8% ***	41.4% **	13.2%	21.6% *	32.5% *	23.1%	5.1%	3.4%	31.0%													
		供給力変化	低下	増大	増大	増大	増大	増大	維持	低下	低下	低下	維持	維持	維持													
京都府コスト競争力			-	-	-	低下	低下	低下	低下	-	増大	-	低下	低下	-													
参考指標	IM6	6月対年出荷割合	100.0%	2.0%	2.0%	3.0%	5.0%	8.0%	13.9%	17.3%	21.4%	15.0%	7.4%	3.1%	2.0%													
	IQj	京都府市場シェア	82.3%	80.5%	35.8%	36.9%	33.7%	33.7%	48.0%	41.8%	68.1%	57.0%	76.2%	67.5%	75.7%	75.2%	84.7%	85.6%	89.4%	93.6%	93.8%	95.4%	95.4%	94.8%	68.6%	71.9%	32.2%	40.7%
	IRj	他産地との価格差	7.5%	22.5%	49.7%	117.9%	65.8%	125.0%	53.4%	80.1%	38.0%	52.0%	28.5%	53.5%	23.2%	52.3%	34.2%	46.4%	49.1%	37.9%	24.3%	32.7%	-24.5%	14.7%	10.0%	102.0%	92.0%	270.5%

**概要** 5～10月が入荷の中心だが、冬場も数%の入荷がある。京都府産の出荷量シェアは80.5%でほとんど変化はない。市場単価は、他産地産よりも2～5割高となっており、その差は以前より開いてきた。

**需要動向** 冬場の需要の増加率が高いが、最盛期においても明らかな需要増加が確認される。年計で見ると約2割の需要増である。

**商品価値競争力** 京都府産の青トウガラシの商品価値競争力は、ほぼ周年的に向上している。入荷量の少ない1月～4月に他産地からの入荷が倍増している。しかし、京都府産の入荷量も増加しており、出荷量シェアは維持されている。そうした中で、他産地の市場単価は2割以上下落するという形で、京都府産の優位性は高まっている。出荷最盛期を含むその他の月は、京都府産の価格の上昇が大きい。

**コスト競争力** 京都府産の供給力は、市場単価の上昇に対応しきれていないという意味では、やや低下傾向にあるが、他産地は市場単価の下落にもかかわらず、供給力を増加させている。京都府産は、商品価値競争力で差別化されているようなので、それほど問題は無いが、コスト競争力はどうかと問われれば、全般的に低下傾向である。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	エダマメ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月									
需要動向	ID 需要変化	14.2% ***	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	69.4% ***	x	16.6%	4.5%	1.8%	x	117.4% ***	279.2% **	850.9% **	#VALUE! #VALUE!										
	IS 供給変化	0.8%	93.7%	99.3%	33.3% *	32.4% **	35.1% ***	9.8%	0.2%	3.4%	8.5%	16.5%	2.1%	86.1%										
	IP 価格変化	8.6% *	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	19.7%	0.4%	34.2% ***	12.1%	2.1%	8.5%	38.0% ***	25.3% ***	51.1% **	#DIV/0! #DIV/0!										
	補助指標判別	増大	#VALUE!	#VALUE!	減少	減少	-	維持	維持	維持	増大	増大	増大	#VALUE!										
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	x	#VALUE! #VALUE!	x	x	x	x	x	#VALUE! #VALUE! #VALUE! #VALUE!															
	ICj 競争力変化	x	#VALUE! #VALUE!	x	x	x	x	x	#VALUE! #VALUE! #VALUE! #VALUE!															
	ISj-o 出荷シェア変化	14.5% **	0.0% #DIV/0!	0.0% #DIV/0!	0.0% #NUM!	0.0% #NUM!	0.0% #NUM!	4.4%	14.8% ***	18.0% ***	19.8% **	5.6% *	55.5% #NUM!	83.0% #NUM!										
	IPj-o 価格差変化	2.1%	#DIV/0! #DIV/0!	15.3%	5.8%	31.8% **	22.7%	15.3%	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!														
京都府供給力	補助指標判別	-	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	-	-	-	-	#VALUE!	#VALUE!										
	IPj 価格変化	7.4%	#DIV/0! #DIV/0!	3.7%	4.6%	2.8%	20.0% *	23.5% **	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!														
	ISj 供給変化	42.1% **	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	100.0%	59.5%	38.5% *	49.7% **	54.9% **	24.1%	135.0%	414.7% *										
他産地供給力	供給力変化	増大	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	増大	増大	-	低下	#VALUE!	#VALUE!										
	IPo 価格変化	9.9% *	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	19.7%	0.4%	34.3% ***	12.0%	8.9%	27.8% **	55.9% ***	12.5%	47.8% *	#DIV/0! #DIV/0!										
	ISo 供給変化	22.4% ***	93.7%	99.3%	33.3% *	32.4% **	35.1% ***	4.4%	24.0% **	27.7% ***	31.4% *	28.6%	96.8%	97.9%										
京都府コスト競争力	供給力変化	低下	#VALUE!	#VALUE!	低下	低下	低下	維持	低下	低下	低下	維持	低下	#VALUE!										
	補助指標判別	増大	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	増大	増大	-	低下	#VALUE!	#VALUE!										
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	0.0%	0.0%	1.6%	3.7%	4.5%	16.4%	28.7%	24.8%	10.5%	9.5%	0.3%	0.0%										
	IQj 京都府市場シェア	33.4%	47.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	14.1%	38.1%	52.9%	40.2%	58.2%	46.3%	66.1%	85.6%	91.2%	42.7%	98.2%	2.3%	85.3%
	IRj 他産地との価格差	4.5%	2.4%	#DIV/0! #DIV/0!	-10.7%	4.6%	-25.2%	-31.0%	-13.0%	-44.8%	35.8%	13.1%	30.4%	45.7%	#DIV/0!	-40.4%	#DIV/0!	#DIV/0!						

**概要** エダマメの入荷は4月頃から始まり、10月にほぼ終了するが、京都府は、6月から出荷をはじめ晩生の産地である。6月の京都府産の出荷量シェアは14.1%だが、10月には91.2%に達する。年計にすると47.8%で、以前よりも13.4ポイント増加した。市場単価は6~8月で他産地よりも低く、9~10月期に他産地よりも高くなる。

**需要動向** エダマメの需要は6~8月にはほとんど変化していないが、9~10月には増加している。出荷量が顕著に増加しない中で価格上昇という形で現れているから、どの程度の増加かは定かではないが、単価が3割近く高まった。

**商品価値競争力** 京都府産エダマメの商品価値競争力の動きを確認する材料は出ていない・京都府産は、6~10月のいずれの月もシェアを伸ばしたが、8月を除いて販売単価に大きな影響は出ていない。8月については、他産地の供給量が3割近く減少しており、その分他産地産の価格上昇を招いた。

**コスト競争力** 京都府産は7~8月期には単価の向上がなくても出荷量は増大しており、他産地の後退を促している。9~10月も出荷量は増加しているが、単価の上昇に追いついていない。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	オオカブ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
需要動向	ID 需要変化	16.7% *	×	0.4%	×	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	84.3% **	×	21.7%	×											
	IS 供給変化	15.2% **	6.3%	0.9%	3.5%	78.3%	98.6%	92.4%	100.0%	100.0%	86.0% ***	41.0% **	5.9%	11.1% **													
	IP 価格変化	2.7%	6.7%	1.7%	33.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.8%	21.8%	24.9%	5.3%												
	補助指標判別	減少	維持	維持	維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	減少	減少	維持	減少												
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	×	×	×	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	×	×	×										
	ICj 競争力変化	×	×	×	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	×	×	×										
	ISj-o 出荷シェア変化	10.2% ***	1.4%	2.3%	1.5% #NUM!	37.5% #DIV/0!	100.0% #DIV/0!	100.0% #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0% #NUM!	3.2% *	7.7%	4.4% *												
	IPj-o 価格差変化	36.5% **	8.1%	3.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.3%	63.8% **	12.8%											
	補助指標判別	-	維持	維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	-	低下	-												
京都府供給力	IPj 価格変化	9.7%	7.5%	1.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	19.7%	31.0%	6.7%											
	ISj 供給変化	3.7%	7.7%	1.7%	1.1%	99.8%	#DIV/0! **	#DIV/0! ***	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	50.5% **	2.9%	6.9% *											
	供給力変化	維持	維持	維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	低下	維持	低下												
他産地供給力	IPo 価格変化	32.4% *	1.0%	4.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.8%	25.2%	46.9% *	10.4%												
	ISo 供給変化	49.7% **	53.7%	33.4%	7.9%	65.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	86.0% ***	38.6% **	48.0%	75.7%													
	供給力変化	低下	維持	維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	低下	低下	低下	維持												
京都府コスト競争力		増大	維持	維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	-	増大	低下													
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	14.9%	8.4%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	11.8%	24.6%	38.5%													
	IQj 京都府市場シェア	75.0%	85.1%	97.6%	99.0%	92.8%	90.4%	64.0%	62.4%	37.9%	0.4%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	#DIV/0!	0.0%	#DIV/0!	0.0%	0.0%	19.6%	16.4%	82.8%	90.5%	93.9%	98.3%
	IRj 他産地との価格差	24.8%	-11.7%	56.5%	48.4%	49.2%	45.7%	#DIV/0!	26.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	27.9%	28.1%	37.6%	-26.2%	44.3%	31.5%			

**概要** 大カブの出荷時期は10～12月が中心。他産地の供給減により京都府産の出荷量シェアは増加傾向で、現在年計で85.1%である。他産地との価格差は月によるが、シェアの増加にともない低下する傾向にある

**需要** 最盛期の12月の需要が減少しており、その他の月も維持～減少である。

**商品価値競争力** 11月の商品価値競争力が低下している

**コスト競争力** 京都府も他産地も供給力が低下気味である。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	カモナス

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月							
需要動向	ID 需要変化	72.7% ***	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	x	107.4% ***	84.4% ***	62.1% ***	27.6% **	41.4% ***	59.3% **	129.6% *	#VALUE! #VALUE!							
	IS 供給変化	30.1% **	100.0%	100.0%	#DIV/0! *	191.2% **	74.9% **	62.8% ***	25.1%	21.8% *	15.2%	58.6% *	168.1% **	60.4%								
	IP 価格変化	31.2% ***	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	442.7% *	50.1% **	33.0% *	42.1% **	7.3%	61.1% **	0.5%	11.3%	#DIV/0! #DIV/0!							
	補助指標判別	増大	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	増大	#VALUE!															
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!																			
	ICj 競争力変化	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!																			
	ISj-o 出荷シェア変化	0.0% #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	0.0% #DIV/0!	0.0% #DIV/0!	0.1% #DIV/0!	0.1% #DIV/0!	0.1% #DIV/0!	0.2% #DIV/0!	0.0% #DIV/0!	0.0% #DIV/0!	0.0% #DIV/0!							
	IPj-o 価格差変化	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!																			
京都府供給力	補助指標判別	#VALUE!	#VALUE!																			
	IPj 価格変化	31.3% ***	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	11.1%	7.1%	8.0%	43.4% **	25.4% **	91.4% ***	39.1% **	13.8%	#DIV/0! #DIV/0!							
	ISj 供給変化	30.0% **	100.0%	100.0%	#DIV/0! *	191.2% **	74.9% **	62.7% ***	25.2%	21.7% *	15.0%	58.6% *	168.1% **	60.4%								
他産地供給力	供給力変化	-	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	増大	増大	増大	低下	-	低下	-	増大	#VALUE!								
	IPo 価格変化	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!																			
	ISo 供給変化	63.6%	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! *	12.2%	97.6%	590.9% **	100.0%	#DIV/0! #DIV/0!													
京都府コスト競争力	供給力変化	#VALUE!	#VALUE!																			
	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	5.0%	12.1%	27.1%	31.3%	17.3%	5.8%	0.8%	0.1%								
参考指標	IQj 京都府市場シェア	99.9%	99.9%	100.0%	#DIV/0! 100.0%	#DIV/0! #DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	99.7%	99.8%	99.9%	99.8%	100.0%	99.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	IRj 他産地との価格差	#DIV/0!	69.7%	#DIV/0! #DIV/0!	380.2%	#DIV/0! 8882.9%	#DIV/0! 11433.6%	#DIV/0! #DIV/0!														

**概要** 加茂ナスの出荷時期は5～10月で、京都府産でほぼ独占されている。

**需要動向** 加茂ナスの需要は大きく伸びており、年計で72.7%の増加である。いずれの月も出荷量・単価ともに伸びている。

**商品価値競争力** これほどの需要の伸びにもかかわらず、ほぼ全てが京都府産で占められ、他府県産の参入を許さないから、商品価値競争力は高いままであると判断される。

**コスト競争力** 京都府産の供給力は5～6月に大きく高まっており、7月、9月にはやや低下している。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	キリミズナ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
需要動向	ID 需要変化	x	x	x	x	x	x	x	107.9% ***	x	122.3% *	x	x	x	x												
	IS 供給変化	95.7% ***	83.9% ***	85.6% ***	89.9% ***	153.8% ***	132.2% ***	110.8% ***	167.6% ***	174.4% ***	113.7% ***	65.9% **	74.5% ***	51.2% **													
	IP 価格変化	3.7%	25.5% *	16.1%	22.6% *	17.5% **	4.3%	2.2%	80.8%	20.1% *	6.2%	5.8%	17.1%	0.5%													
	補助指標判別	増大	増大	増大	増大	-	増大	増大	増大	-	増大	増大	増大	増大	増大												
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	x	1.09 ***	x	x	x	x	x	#VALUE! #VALUE!	x	x	0.48	x	x													
	ICj 競争力変化	x	19.8 ***	x	x	x	x	x	#VALUE! #VALUE!	x	x	x	x	x													
	ISj-o 出荷シェア変化	16.3% ***	15.5% ***	15.2% **	19.2% **	18.4% **	15.9% **	11.8% *	25.5% #NUM!	12.6% ***	11.2% **	18.2% ***	13.2% ***	15.9% ***													
	IPj-o 価格差変化	4.0%	1.3%	2.1%	17.4% *	2.7%	7.1%	5.5%	11.5%	11.3% *	2.1%	9.2%	2.1%	5.0%													
	補助指標判別	-	-	-	-	-	-	-	#VALUE!	低下	-	-	-	-													
京都府供給力	IPj 価格変化	9.9%	28.3% **	19.4%	34.8% *	9.8%	13.2%	3.0%	26.3%	15.2%	0.7%	15.2%	12.9%	2.7%													
	ISj 供給変化	52.5% ***	47.9% ***	48.7% ***	38.9% **	92.8% ***	83.1% ***	73.6% ***	81.0% ***	119.9% ***	74.4% ***	22.8%	44.8% **	20.0%													
	供給力変化	増大	-	増大	-	増大	増大	増大	増大	増大	増大	維持	増大	維持													
他産地供給力	IPo 価格変化	8.8% *	39.8% **	22.2% *	26.8% *	11.6%	11.9%	15.7%	72.4% *	9.8%	3.8%	10.0%	15.3%	9.8%													
	ISo 供給変化	217.2% ***	219.3% ***	204.3% ***	218.4% ***	351.7% ***	281.1% ***	186.6% **	486.7% ***	268.8% ***	174.7% ***	165.9% ***	174.9% ***	157.2% ***													
	供給力変化	-	-	-	-	増大	増大	増大	-	増大	増大	増大	増大	増大													
京都府コスト競争力		-	#VALUE!	-	#VALUE!	-	-	-	-	-	-	低下	-	低下													
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	10.3%	10.9%	10.6%	9.3%	7.7%	6.2%	5.1%	5.4%	6.4%	8.2%	9.6%	10.3%													
	IQj 京都府市場シェア	73.8%	57.5%	79.0%	63.5%	76.3%	61.1%	71.6%	52.4%	76.5%	58.1%	75.2%	59.3%	67.1%	55.3%	78.7%	53.2%	63.4%	50.8%	60.8%	49.6%	69.9%	51.7%	77.1%	64.0%	77.3%	61.4%
	IRj 他産地との価格差	31.7%	35.7%	27.2%	25.9%	22.7%	24.8%	32.4%	49.7%	40.1%	37.5%	47.2%	54.4%	61.1%	55.6%	95.4%	83.9%	51.1%	39.8%	37.8%	39.9%	33.6%	42.8%	30.4%	28.4%	24.3%	19.3%

**概要** 切り水菜は、冬場をピークとしながらも、周年的な入荷が見られる。京都府産のシェアは、5~6割で、年計では57.7%である。以前の73.8%から16.1ポイントの低下である。市場単価は、他産地より年計で35.7%高く、この価格差は維持されている。

**需要動向** 切り水菜の需要は大きく伸びた。年計で約2倍の伸びである。もともと冬場の鍋物需要が多かったはずだが、需要量の伸びは季節に関係ないから、鍋物以外の需要が伸びているものと推測される。結果として、夏場の需要の伸び率が高くなっている。

**商品価値競争力** 切り水菜の入荷量は京都府産も他産地産も大きく伸びている。ただし、他産地産の増加の方がはるかに大きく、その結果、京都府産の出荷量シェアが減少することになった。その一方で、価格差には目立った動きはないから、京都府産の商品価値競争力の優位性は高まっているとはいえない。むしろ1月と8月期においては、京都府産の優位性の低下が確認される。

**コスト競争力** 京都府も他産地も水菜の供給力は高まっており、どちらのコスト競争力が高まったかは、程度の問題であるが、出荷量の伸びから京都府の京都府のコスト競争力の方が相対的に低くなっていると判断される。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	キャベツ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
需要動向	ID 需要変化	×	1.7%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0.4%	×												
	IS 供給変化	0.0%	5.0% *	3.3%	1.9%	1.3%	3.2%	4.9%	0.1%	0.3%	1.5%	1.3%	1.7%	4.0%													
	IP 価格変化	5.1%	16.7%	15.0%	15.8%	16.2%	3.5%	13.4%	12.2%	11.3%	16.0%	4.8%	4.5%	7.5%													
	補助指標判別	維持	減少	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持												
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	×	×	×	×	×	×	×	×	×	#VALUE! #VALUE! #VALUE! #VALUE!	×	×	×													
	ICj 競争力変化	×	×	×	×	×	×	×	×	×	#VALUE! #VALUE! #VALUE! #VALUE!	×	×	×													
	ISj-o 出荷シェア変化	3.5% ***	2.7% **	3.4% **	1.8% **	5.0%	9.9% ***	10.2% **	1.8% **	0.0% #NUM!	0.1% #NUM!	0.9% **	2.8% *	2.9% **													
	IPj-o 価格差変化	10.1%	13.2% ***	5.7% *	2.0%	0.9%	1.7%	0.5%	2.8%	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	29.6% **	1.1%	0.9%													
	補助指標判別	-	低下	低下	-	維持	-	-	-	#VALUE!	#VALUE!	-	-	-													
京都府供給力	IPj 価格変化	5.1%	4.2%	10.3%	18.5%	15.8%	0.5%	17.3%	22.4% *	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	38.2% *	6.0%	9.3%													
	ISj 供給変化	29.5% ***	44.0% *	57.2% *	54.9% *	43.4%	21.6% **	20.6% *	45.0% *	97.6% *	100.0%	70.8% **	44.2% **	47.9% **													
	供給力変化	低下	低下	低下	低下	維持	低下	低下	-	#VALUE!	#VALUE!	低下	低下	低下													
他産地供給力	IPo 価格変化	5.6%	16.9%	14.5%	15.2%	15.0%	2.0%	14.4%	12.5%	11.4%	16.0%	4.5%	4.1%	7.1%													
	ISo 供給変化	3.9% *	2.3%	7.0% *	0.0%	4.3%	20.7% ***	23.4% ***	2.0%	0.3%	1.5%	0.4%	1.3%	1.0%													
	供給力変化	増大	維持	増大	維持	維持	増大	増大	維持	維持	維持	維持	維持	維持													
京都府コスト競争力		低下	低下	低下	低下	維持	低下	低下	-	#VALUE!	#VALUE!	低下	低下	低下													
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	6.3%	7.4%	8.7%	9.4%	11.0%	9.1%	8.2%	8.4%	8.5%	8.6%	7.3%	7.1%													
	IQj 京都府市場シェア	11.7%	8.3%	6.5%	3.9%	5.8%	2.4%	3.4%	1.6%	11.8%	6.8%	41.2%	31.3%	42.1%	31.9%	3.9%	2.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	1.3%	0.4%	6.5%	3.7%	6.3%	3.4%
	IRj 他産地との価格差	-13.8%	-23.9%	-10.7%	-23.9%	-14.5%	-20.3%	-29.2%	-31.2%	-11.0%	-11.9%	-21.7%	-23.4%	-21.0%	-20.5%	-32.0%	-34.8%	-61.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-10.9%	18.8%	-12.6%	-11.5%	-14.1%	-13.2%

**概要** 京都府産キャベツのシェアは年平均で8.3%で、以前より3.4ポイント低下した。キャベツは周年的に出荷され、京都府は5~6月期を中心に出荷している。6月の出荷シェアが31.9%で最大であるが、以前は42.1%だった。市場価格は、以前から他産地よりも1割以上低かったが、最近はさらに低くなり、2割程度低い価格となっている。

**需要** キャベツの需要は周年を通じてほとんど変化していない。

**商品価値競争力** 最盛期の5~6月期の出荷量シェアの縮小は、そのまま他産地に代替されている格好となるが、1~2月期では、市場シェアの低下とともに他産地に価格を引き離されており、商品価値競争力の低下を伴っていると判断される。

**コスト競争力** 京都府産も他産地産も、出荷量の変化は価格の変動によるとは考えにくく、京都府産が出荷量を減らし、他産地が増加させている。このことから、京都府産のコスト競争力は低下傾向にあると判断される。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	金時にんじん

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月													
需要動向	ID 需要変化		5.9% *	0.6%	7.6%	x	x	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	x	6.2% *	13.9% ***											
	IS 供給変化		22.9% ***	20.6%	15.1%	8.2%	58.5% **	82.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!	*	100.0%	23.6% **	19.3% *	25.8% ***											
	IP 価格変化		33.2% **	19.4%	20.3%	32.6% *	38.8% *	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	8.9%	7.8%	36.0% **											
	補助指標判別		-	維持	維持	増大	-	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	減少	減少	-											
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度		x	x	x	x	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0.85 **	x									
	ICj 競争力変化		x	x	x	x	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	6.2	x									
	ISj-o 出荷シェア変化		5.1% **	11.2% **	9.2% *	25.0% ***	64.8% #DIV/0!	0.0% #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.7% #NUM!	3.2%	3.0% **															
	IPj-o 価格差変化		14.8% *	7.4%	6.5%	1.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	33.2% *	19.9% **									
	補助指標判別		-	-	-	-	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	上昇	-										
京都府供給力	IPj 価格変化		48.1% ***	27.8%	14.2%	31.3% *	6.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	32.0% **	55.0% ***										
	ISj 供給変化		50.4% **	56.6% **	44.1% *	58.2% **	92.7% ***	82.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	70.8%	39.4% *	46.9% **											
	供給力変化		低下	低下	低下	低下	低下	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	低下	低下											
他産地供給力	IPo 価格変化		31.5% **	18.0%	18.7%	29.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	9.7%	5.0%	34.4% *											
	ISo 供給変化		18.3% **	8.8%	4.3%	53.9% *	67.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!	*	100.0%	23.0% **	16.3%	23.3% ***											
	供給力変化		低下	維持	維持	増大	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	低下	維持	低下											
京都府コスト競争力			-	低下	低下	低下	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	低下	-												
参考指標	IM6 6月対年出荷割合		100.0%	9.1%	7.7%	4.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	10.4%	64.9%												
	IQj 京都府市場シェア		14.4%	9.3%	24.6%	13.5%	27.0%	17.7%	40.8%	15.8%	78.7%	13.9%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	45.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%	0.0%	#DIV/0!	1.2%	0.5%	13.0%	9.8%	10.4%	7.5%
	IRj 他産地との価格差		-3.9%	10.9%	-9.3%	-2.0%	-12.9%	-19.3%	-10.4%	-11.4%	#DIV/0!	-60.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	21.3%	54.5%	-1.2%

- 概要** 京都府の金時ニンジンのシェアは9.3%で、以前より5.1ポイント低下した。金時ニンジンの出荷時期は11月から翌年3月までで、そのうち64.9%は12月に出荷される。この時期の京都府のシェアは7.5%で、以前より2.9ポイントの低下である。一方、京都府のシェアが最も高くなるのは2月で17.7%、これも以前より9.3ポイントの低下である。
- 需要** 金時ニンジンの需要は、出荷最盛期の11～12月に1割程度の縮小がみられ、3月に若干の増大が確認できる。
- 商品価値競争力** 11月期においては京都府産の出荷量シェアの低下はわずかであるが、価格差が拡大しており、京都府産の商品価値競争力は高まっている。12月の最盛期においても、この傾向は幾分確認できる。
- コスト競争力** 京都府も他産地も価格が高まる中で供給量を減少させており、京都府産のコスト競争力は維持～低下と判断される。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	コマツナ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
需要動向	ID 需要変化	×	0.9%	×	×	×	×	10.9%	×	7.2%	19.4%	4.0%	0.7%	21.7%	15.5% **												
	IS 供給変化	8.6%	12.4%	6.0%	19.4% ***	16.3% *	14.4%	4.7%	6.3%	1.9%	1.4%	8.3%	6.2%	5.9%													
	IP 価格変化	1.0%	8.4%	9.0%	14.6% *	5.8%	3.7%	14.0%	0.5%	13.4% *	1.4%	9.7%	11.4%	9.6%													
	補助指標判別	維持	維持	維持	-	減少	維持	維持	維持	維持	減少	維持	維持	維持	維持												
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×												
	ICj 競争力変化	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×												
	ISj-o 出荷シェア変化	18.0% **	10.4% **	11.3% *	12.0% **	18.2% ***	21.4% **	18.4% **	22.9% ***	22.8% **	25.2% **	17.1% **	14.5% **	13.2% **													
	IPj-o 価格差変化	0.2%	3.0%	2.5%	5.4%	3.0%	10.8% *	6.0%	7.5% *	1.6%	5.1% *	9.8%	5.7%	10.6%													
	補助指標判別	-	-	-	-	-	低下	-	-	-	-	-	-	-													
京都府供給力	IPj 価格変化	0.3%	8.6%	9.6%	16.1% *	6.7%	2.3%	12.9%	5.5%	8.8%	3.0%	8.2%	12.7%	9.0%													
	ISj 供給変化	28.1% ***	22.6% **	18.1% **	30.2% ***	33.3% ***	36.1% ***	26.8% ***	35.0% ***	29.7% **	33.1% ***	27.1% **	21.2% *	19.6%													
	供給力変化	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	維持													
他産地供給力	IPo 価格変化	0.1%	12.2%	6.9%	10.4%	10.7%	14.4%	7.6%	2.0%	9.0%	2.1%	19.6%	7.1%	1.7%													
	ISo 供給変化	94.7% **	78.4% **	80.7% **	70.4% **	126.3% ***	105.0% **	79.8% **	79.1% **	90.0% **	112.2% ***	86.2% **	136.9% ***	125.4% **													
	供給力変化	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大													
京都府コスト競争力		低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下													
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	6.0%	7.4%	8.1%	8.7%	9.1%	9.1%	9.0%	8.9%	9.0%	9.3%	8.0%	7.3%													
	IQj 京都府市場シェア	84.1%	66.1%	90.0%	79.5%	87.8%	76.5%	89.3%	77.3%	89.3%	71.2%	84.7%	63.3%	79.2%	60.8%	74.8%	51.9%	73.6%	50.8%	78.1%	53.0%	83.4%	66.3%	90.5%	76.0%	90.6%	77.4%
	IRj 他産地との価格差	3.9%	4.1%	4.4%	1.4%	-1.8%	-4.3%	-2.4%	3.1%	8.8%	5.8%	9.9%	-0.9%	9.2%	3.2%	8.5%	16.0%	19.8%	18.2%	7.1%	12.2%	8.5%	-1.3%	1.1%	-4.6%	12.6%	2.0%

**概要** ほぼ周年的な入荷があり、そのうち66.1%は京都府からである。ただし、以前は84.1%が京都府産だったから、24ポイント低下したことになる。他産地との価格差はほとんどないが、7～9月期においては15%前後の高単価となっている。

**需要動向** コマツナの需要は、周年的に大きな変化はない。ただし、4月、8月と12月に若干の需要低下が確認される。

**商品価値競争力** コマツナについては、はっきりとした差別化の傾向は読み取れない。京都府産のシェアは近年縮小する傾向にあるが、それが産地間の単価に影響していない。むしろ市場シェアの低下が価格差を縮めている5月期のようなケースも見受けられる。

**コスト競争力** 京都府のコマツナの出荷量は、価格が大きく低下したわけではないのに、年計で28.1%も減少した。一方、他産地の出荷量は、年計で94.7%と倍増である。これは終焉的な傾向で、京都府産コマツナのコスト競争力は低下している。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	白いボキュウリ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
需要動向	ID 需要変化	x	20.4% **	x	55.2% ***	25.2% ***	x	x	x	8.9%	x	6.3%	x	18.0% **													
	IS 供給変化	8.1% **	11.9% *	18.4% ***	14.2% ***	0.8%	0.7%	0.4%	8.8% *	13.7% **	7.0% *	14.7% **	3.5%	9.9% *													
	IP 価格変化	8.1% ***	21.0%	3.8%	18.5% **	27.3% ***	12.5%	13.1%	3.3%	7.2%	18.0% *	14.8%	8.0%	16.1%													
	補助指標判別	減少	減少	減少	減少	減少	維持	維持	減少	減少	-	減少	維持	減少													
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	1.12 **	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	x	x	x	0.26 ***	x	x	x	x	x													
	ICj 競争力変化	16.4 **	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	x	x	x	17.4 **	x	x	x	x	x													
	ISj-o 出荷シェア変化	3.8% ***	0.1% #NUM!	0.1% #NUM!	0.1% #NUM!	0.2%	0.7%	6.0% **	10.4% ***	8.7% **	8.1% **	4.5% ***	2.2% ***	0.5%													
	IPj-o 価格差変化	11.0% *	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	7.2%	1.4%	9.4% *	1.4%	7.3%	4.6%	8.9% **	8.2%	21.0% ***													
	補助指標判別	-	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	維持	-	-	-	-	-	-	上昇													
京都府供給力	IPj 価格変化	1.4%	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	15.3% **	8.7%	4.2%	2.3%	12.3%	22.9% **	24.4% *	0.2%	6.6%													
	ISj 供給変化	34.0% ***	85.5% *	85.2%	81.1%	22.4%	15.5%	25.6% **	31.9% ***	35.1% ***	40.6% **	48.6% ***	39.5% ***	35.8% *													
	供給力変化	低下	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	増大	維持	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下													
他産地供給力	IPo 価格変化	9.6% ***	21.0%	3.8%	18.5% **	27.4% ***	12.6%	14.5%	3.7%	4.8%	16.0%	13.9%	8.4%	16.4%													
	ISo 供給変化	4.1% *	11.8% *	18.4% ***	14.1% ***	1.0%	0.1%	7.4%	7.2%	2.2%	2.7%	10.4% *	1.2%	9.5%													
	供給力変化	-	低下	低下	-	増大	維持	維持	維持	維持	維持	低下	維持	維持													
京都府コスト競争力		-	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	-	維持	低下	低下	低下	低下	-	低下	低下													
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	6.2%	6.0%	7.7%	10.4%	11.5%	9.7%	8.8%	9.6%	9.8%	7.5%	6.6%	6.2%													
	IQj 京都府市場シェア	13.5%	9.7%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.8%	0.6%	4.4%	3.7%	23.7%	17.7%	40.8%	30.5%	35.1%	26.4%	22.6%	14.4%	11.3%	6.8%	6.0%	3.8%	1.6%	1.1%
	IRj 他産地との価格差	-12.5%	-1.5%	#DIV/0!	-22.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	8.0%	32.1%	39.3%	28.9%	30.3%	14.0%	23.4%	2.6%	4.0%	-2.1%	5.2%	-10.3%	-5.6%	-6.9%	2.0%	-8.8%	-0.5%	-31.4%	-10.4%

**概要** 京都府の市場シェアは年平均9.7%で、以前より3.8ポイント低下した。京都府産は、5～11月期に出荷されているが、そのピークは7月期で、30.5%のシェアである。ただし、以前はそれより10.3ポイント高かった。価格差は最近改善してきており、5～6月のハシリの時期に2～3割高となるが、それ以降は他産地並みである。

**需要** 白いぼキュウリの需要は、周年的に停滞～やや縮小である。京都府産の出荷時期も10%前後の需要の縮小がみられる。

**商品価値競争力** 京都府産の価格差は改善してきているが、市場シェアの縮小はそれ以上に大きいことから、商品価値競争力はむしろ停滞～低下してきていると判断される。特に7月期の低下が顕著である。

**コスト競争力** 白いぼキュウリに関しては、他産地の出荷量も停滞気味であるが、京都府産の出荷量は年に34%も減少しており、コスト競争力は明らかに低下している。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	タケノコ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
需要動向	ID 需要変化	×	12.5% **	×	44.4% *	×	×	×	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	×	×	6.4%													
	IS 供給変化	12.8% ***	19.2% **	14.1% ***	2.1%	14.1% ***	30.3%	15.0%	95.3% **	31.2%	399.2% ***	85.9% *	31.8% *	15.4%													
	IP 価格変化	5.2%	9.0%	14.3%	10.8%	2.6%	23.7% *	39.6% *	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	9.7%	58.0% **	20.6% *													
	補助指標判別	減少	減少	減少	維持	減少	増大	増大	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	増大	-	増大													
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	0.69 ***	2.37 ***	×	2.29 ***	1.12 ***	×	#VALUE! #VALUE!	3.78 ***	3.61 ***																	
	ICj 競争力変化	31.9 *	14.0 **	×	3.1	12.0	×	#VALUE! #VALUE!	15.5	12.5																	
	ISj-o 出荷シェア変化	4.1%	5.3%	4.5%	3.4%	6.7%	0.4%	1.7% #DIV/0!	11.0% #DIV/0!	65.3% #NUM!	0.0% #DIV/0!	4.5% #NUM!	6.1%	15.2% **													
	IPj-o 価格差変化	7.5%	39.6%	15.0%	7.9%	5.8%	17.5%	#DIV/0! #DIV/0!	33.9%	76.3%																	
京都府供給力	補助指標判別	維持	維持	維持	維持	維持	維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	-													
	IPj 価格変化	7.2%	10.9%	6.4%	13.0%	8.8%	15.8%	50.6% **	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	33.5%	27.7%													
	ISj 供給変化	4.3%	102.3%	90.2%	17.3%	1.2%	30.6%	13.5%	94.7% *	100.0%	399.2% ***	147.4% **	3.7%	187.3% **													
他産地供給力	供給力変化	維持	維持	維持	維持	維持	維持	低下	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	増大													
	IPo 価格変化	0.5%	4.8%	4.8%	16.6% *	7.4%	1.2%	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	6.0%	51.6% *	10.0%													
	ISo 供給変化	19.0% *	23.6% **	18.1% ***	2.5%	24.6% *	28.7%	65.9%	100.0%	278.2%	#DIV/0! #DIV/0!	76.1%	36.5% **	29.1% **													
京都府コスト競争力	供給力変化	低下	低下	低下	増大	低下	維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	低下	低下												
	増大	増大	増大	低下	増大	維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	増大	増大														
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	1.7%	3.4%	20.3%	64.3%	7.9%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%	0.2%	1.3%													
	IQj 京都府市場シェア	42.1%	46.3%	3.5%	8.8%	3.7%	8.2%	23.0%	26.4%	44.8%	51.5%	83.8%	83.4%	97.1%	98.8%	89.0%	100.0%	65.3%	0.0%	100.0%	100.0%	13.7%	18.3%	11.7%	17.8%	6.3%	21.5%
	IRj 他産地との価格差	17.3%	24.9%	227.4%	267.0%	210.0%	225.0%	84.6%	76.7%	53.4%	47.6%	-56.6%	-39.1%	#DIV/0! #DIV/0!	-39.5%	152.7%	186.7%	142.8%	66.6%								

**概要** タケノコの出荷は3～4月でほとんどが出荷されるが、わずかながら1～2月や5月にも出荷はみられる。京都府産の出荷量シェアは、年計46.3%で、以前より若干高まった。月別のシェアは、2月よりも3月、3月よりも4月が高いが、最近は1～3月の早期出荷のウエイトを高めている。市場単価は、他産地のものより年計で24.9%高く、以前の17.3%高よりも優位性が増している。これは、早期出荷のウエイトを高めたことが功を奏しており、1～2月の京都府産のタケノコの価格は、他産地のものより2倍以上高く、しかも価格差は拡大している。

**需要** タケノコの需要は、いずれの月も減少している。5月期の需要はやや増大してるが、この時期は、出荷量も少なく、天候の影響と考えられる不安定な需要である。

**商品価値競争力** 京都府産のタケノコの商品価値は他産地のものと明らかに差別化されており、その優位性は維持されている。出荷量は少ないが1月期には一層の向上が確認される。

**コスト競争力** 京都府産のタケノコは供給力に目立った動きはないが、他産地の供給力は明らかに低下しており、相対的に京都府産のコスト競争力は高まっている。ただし、他産地も、3月期においては、価格低下にもかかわらず出荷量を減らしておらず、京都府産の競争力は相対的に低下していることになる。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	ナス

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月											
需要動向	ID	需要変化	18.6% **	16.3% **	19.7% *	x	x	34.5% **	21.2% **	9.5% **	x	x	3.4%	33.7% **	x											
	IS	供給変化	9.4% ***	11.2%	13.4% **	11.3% **	11.5% ***	15.2% **	13.4% ***	11.6% **	5.5%	0.9%	6.2%	0.7%	7.6% *											
	IP	価格変化	4.2%	5.5%	6.2%	12.8% **	4.9%	10.1% **	7.1%	3.5%	7.2%	10.8%	4.0%	12.4% **	11.3% *											
		補助指標判別	減少	維持	減少	減少	減少	減少	減少	減少	減少	維持	維持	維持	減少	減少										
京都府商品価値競争力	μ	差別化の程度	1.16 ***	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	x	x	x	x	x	x	x	x	x											
	ICj	競争力変化	4.1	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE!	x	x	x	x	x	x	x	x	x											
	ISj-o	出荷シェア変化	1.8% *	0.0% #NUM!	0.0% #NUM!	0.0% #NUM!	0.1%	1.0% *	0.7%	5.2% *	4.7% *	5.1% **	8.1% **	1.2%	0.3% **											
	IPj-o	価格差変化	4.6%	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	25.1%	1.7%	5.9%	4.2%	9.8% **	3.9%	1.8%	3.8%	10.5%											
		補助指標判別	-	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	-	維持	-	-	-	-	維持	-											
京都府供給力	IPj	価格変化	1.8%	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	8.5%	5.4%	11.5%	2.8%	10.7%	12.2% *	2.3%	19.4% *	1.9%											
	ISj	供給変化	14.4% ***	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	100.0% *	59.2%	57.8% *	15.8%	18.8% **	11.9% ***	8.7% *	21.7% *	9.8%	97.5% **											
		供給力変化	低下	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	低下	維持	低下	低下	低下	低下	増大	増大											
他産地供給力	IPo	価格変化	5.6%	5.5%	6.2%	12.8% **	4.8%	9.7% *	5.8%	8.1%	1.2%	7.9%	0.1%	11.3% *	11.1% *											
	ISo	供給変化	6.9% **	11.2%	13.4% **	11.3% **	11.4% ***	14.3% **	12.6% *	0.9%	8.4%	13.9%	8.7%	0.7%	7.9% *											
		供給力変化	低下	維持	低下	-	低下	-	低下	維持	維持	維持	維持	増大	-											
京都府コスト競争力			-	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	増大	-	増大	低下	低下	低下	低下	-	-											
参考指標	IM6	6月対年出荷割合	100.0%	3.0%	3.7%	5.5%	8.6%	11.1%	14.8%	12.5%	15.2%	11.1%	7.3%	4.4%	2.9%											
	IQj	京都府市場シェア	32.6%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	1.9%	1.0%	23.9%	23.2%	63.5%	58.3%	68.1%	63.4%	65.4%	60.3%	48.9%	40.8%	13.0%	14.2%	0.2%	0.5%
	IRj	他産地との価格差	-26.6%	-21.9%	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	141.0%	166.1%	49.9%	51.5%	2.3%	-3.6%	19.1%	14.9%	6.7%	16.5%	-3.5%	0.4%	-51.5%	-53.3%	-64.7%	-60.9%	-66.0%	-55.5%	

### 概要

ナスの入荷量は6~8月がピークだが、ほぼ周年的に出荷されている。  
 京都府産は6月~11月期がほとんどで、8月の市場シェアは63.4%である。  
 販売単価は7~8月期に他府県産に比べ15%前後高くなるが、10~11月期には5割以下となる。

### 需要

ナスの需要は減少傾向にあり、京都府の出荷期間では、ハシリの6月と最後の11月が2~3割の大きな需要の減少が見られる。ただし、最盛期は、7月に1割弱減少しているのを除けば、8~10月に目立った需要の減少は見られない。

### 商品価値競争力

ナスに関しては、目立った商品価値競争力の変化はない。

### コスト競争力

他産地の供給力はそれほど変化がないのに対して、京都府産の出荷量の低下が大きい。価格はそれほど変化していないにもかかわらず、出荷量は以前と比べて年間で14.4%減少した。相対的に、京都府産のコスト競争力は低下傾向にあると判断される。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	トマト

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
需要動向	ID 需要変化	×	42.4% ***	×	×	×	×	×	×	73.3% **	×	39.2% **	34.6% ***	37.7% **	40.4% ***												
	IS 供給変化	25.2% ***	33.9% ***	28.1% **	11.4% *	16.8% **	10.5%	13.7% *	14.7% *	40.6% ***	45.0% ***	30.1% **	49.1% ***	32.2% **													
	IP 価格変化	1.0%	8.3%	1.7%	2.3%	4.0%	3.8%	4.2%	8.3% **	11.1%	9.0%	3.8%	7.9%	10.5%													
	補助指標判別	増大	増大	増大	増大	増大	維持	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大												
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	×	×	×	0.20 *	0.00	×	×	0.22 **	×	×	0.19	×	×													
	ICj 競争力変化	×	×	×	25.9 **	×	×	×	18.4 **	×	×	×	×	×													
	ISj-o 出荷シェア変化	6.2% ***	1.3%	0.7% ***	2.8% ***	4.7% ***	5.8% ***	6.8% ***	12.5% ***	7.2% ***	3.6% ***	6.3% ***	8.5% ***	4.6% **													
	IPj-o 価格差変化	2.7%	3.1%	9.2% *	25.5% ***	9.6% ***	1.7%	9.2% ***	1.1%	1.3%	4.9%	16.4% ***	11.5% **	1.8%													
	補助指標判別	-	維持	-	-	-	-	低下	-	-	-	-	-	-													
京都府供給力	IPj 価格変化	0.8%	5.3%	9.6%	21.8% ***	5.2%	2.2%	3.3%	5.6%	13.8%	4.4%	18.8% *	1.9%	12.9%													
	ISj 供給変化	23.2% ***	14.2%	6.0%	48.4% ***	45.1% ***	25.3% ***	12.6% *	32.7% ***	34.1% **	15.8%	26.8% ***	15.0% *	9.0%													
	供給力変化	低下	維持	維持	低下	低下	低下	低下	低下	低下	維持	低下	低下	維持													
他産地供給力	IPo 価格変化	1.9%	8.5%	1.4%	2.7%	4.5%	4.0%	5.9%	5.6%	11.5%	9.3%	2.5%	9.5%	9.6%													
	ISo 供給変化	34.4% ***	35.8% ***	29.1% **	14.6% *	22.8% **	18.4% *	24.6% **	35.3% **	52.3% ***	50.6% ***	39.6% **	64.9% ***	39.3% **													
	供給力変化	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大													
京都府コスト競争力		低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下													
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	4.7%	5.2%	6.2%	8.6%	11.2%	11.2%	9.9%	12.9%	12.0%	7.2%	5.3%	5.5%													
	IQj 京都府市場シェア	16.1%	9.9%	9.0%	7.7%	4.3%	3.6%	5.1%	2.4%	8.8%	4.1%	18.0%	12.1%	29.3%	22.5%	30.3%	17.8%	13.6%	6.4%	8.5%	4.9%	14.4%	8.1%	19.8%	11.3%	14.6%	10.1%
	IRj 他産地との価格差	-11.8%	-9.1%	2.9%	-0.2%	10.6%	19.7%	4.6%	30.1%	-1.9%	7.8%	0.5%	2.2%	-4.8%	-13.9%	-19.5%	-20.5%	-7.6%	-8.9%	0.2%	5.0%	0.3%	16.7%	-4.7%	6.8%	-11.4%	-9.6%

概要

京都府産のトマトのシェアは年平均9.9%と限られているが、かつては16.1%あった。京都府産が最大のシェアを占めるのは6月で22.5%である。ただし、これも以前の29.3%から比べると低下している。市場単価は、他産地並みかやや低いところにあるが、2~3月期に高単価となり、6~8月に低い。

需要

トマトの需要は増大しており、ほぼ周期的に40%近い増加が確認される。

商品価値競争力

6~7月の商品価値競争力は明らかに低下しているが、3月期には逆に高まっている。ただし、これは出荷量シェアの縮小を伴った価格差の拡大によるもので、この傾向は、10~11月期にもみられる。

コスト競争力

トマトに対する他産地の供給意欲が高まっているなかで、京都府のトマトの供給力は周期的に低下傾向にある。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	ナノハナ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
需要動向	ID 需要変化	23.6% ***	18.2% *	3.1%	21.2% **	20.5% ***	×	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	×	37.2% **	33.8% **											
	IS 供給変化	25.0% **	0.6%	46.3% ***	25.5% **	31.9% **	11.5%	39.9%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	1.4%	18.6%	17.5%												
	IP 価格変化	1.1%	10.8%	23.3% **	3.4%	8.3%	2.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	17.7%	20.6%	20.7%										
	補助指標判別	増大	維持	-	増大	増大	維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	維持	維持											
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	×	2.62 **	0.15	0.84 **	×	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	×	×										
	ICj 競争力変化	×	10.0 *	×	12.1 **	×	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	×	×										
	ISj-o 出荷シェア変化	5.1% *	7.8% *	4.2%	2.3%	6.9% **	6.8% #DIV/0!	15.5% #DIV/0!	22.4% #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	17.5% #NUM!	11.1%	11.7%										
	IPj-o 価格差変化	8.3%	3.2%	31.6% ***	11.7%	1.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	4.3%	27.8%										
	補助指標判別	-	-	低下	維持	-	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	維持											
京都府供給力	IPj 価格変化	1.6%	10.6%	27.6% **	5.8%	6.0%	6.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	15.5%	25.3%											
	ISj 供給変化	17.0%	10.4%	38.4% **	21.9% *	21.5%	17.8%	100.0%	87.1%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	94.7%	8.6%	1.8%												
	供給力変化	維持	維持	増大	増大	維持	維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	維持												
他産地供給力	IPo 価格変化	9.5%	21.7%	1.4%	7.2%	7.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	25.9%	2.0%											
	ISo 供給変化	55.5% ***	36.5% *	73.1% ***	40.0% **	103.7% ***	139.2% *	28.9%	100.0%	100.0%	100.0%	19.7%	44.2%	64.6% *													
	供給力変化	増大	増大	増大	増大	増大	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	増大												
京都府コスト競争力		低下	低下	-	-	低下	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	低下												
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	13.4%	23.6%	37.4%	15.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	7.6%												
	IQj 京都府市場シェア	79.3%	74.2%	79.0%	71.2%	77.3%	73.2%	80.4%	78.1%	87.3%	80.4%	96.0%	89.1%	15.5%	0.0%	77.6%	100.0%	3.1%	#DIV/0!	0.0%	#DIV/0!	18.5%	1.0%	48.4%	37.3%	70.9%	59.2%
	IRj 他産地との価格差	40.0%	31.8%	42.0%	38.8%	45.5%	13.9%	30.3%	18.6%	42.0%	40.1%	#DIV/0!	50.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	29.2%	33.5%	49.6%	77.5%

**概要** 菜の花は、11～4月が出荷時期である。そのうち、京都府産は後半に比重を置いて供給されている。年計で74.2%のシェアである。京都府産は他産地よりも價格的には有利で、年計で31.8%高となっている。ただし、この差は縮小してきている。

**需要** 菜の花の需要は伸びており、年計で23.6%の伸びがある。ただし、供給の伸びも大きいので、價格の上昇にはつながっていない。

**商品価値競争力** 商品価値競争力としては維持～低下傾向にある。

**コスト競争力** 他産地の供給力の増大が大きく、相対的に京都府産のコスト競争力は低下している。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	ナマシイタケ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
需要動向	ID 需要変化	×	3.5%	×	×	×	×	×	×	15.8%	×	×	×	×	×												
	IS 供給変化	14.2% **	0.8%	5.4%	2.8%	15.1% *	23.2% **	39.0% ***	51.2% ***	52.6% ***	22.5% **	19.8% ***	10.8% **	5.8%													
	IP 価格変化	3.6%	4.5%	5.5%	3.1%	5.8%	3.8%	7.7%	14.5% **	10.2%	9.2%	2.8%	1.3%	18.5% *													
	補助指標判別	増大	維持	維持	維持	増大	増大	増大	-	増大	増大	増大	増大	増大													
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	1.36 **	×	×	×	×	×	1.42 ***	1.15 ***	2.09 ***	1.87 ***	2.10 ***	×	2.88 ***													
	ICj 競争力変化	40.2 **	×	×	×	×	×	18.8 *	28.0	25.8 ***	48.7 **	29.8 ***	×	27.8 ***													
	ISj-o 出荷シェア変化	8.4% ***	6.8% **	5.1% **	8.3% ***	10.1% ***	9.1% ***	12.7% ***	14.1% ***	11.3% ***	7.0% **	7.0% **	9.2% ***	6.9% **													
	IPj-o 価格差変化	11.3% **	4.5%	21.4% *	10.0%	7.3%	4.3%	20.0% **	10.9%	9.1%	14.7% *	23.0% ***	20.5% **	36.8% ***													
	補助指標判別	低下	-	低下	-	-	-	-	-	-	低下	低下	低下	低下													
京都府供給力	IPj 価格変化	2.9%	2.8%	6.1%	5.1%	2.9%	1.5%	9.9%	5.0%	3.2%	3.3%	12.9%	12.3%	7.1%													
	ISj 供給変化	36.7% **	35.3% **	34.2% **	42.9% ***	43.9% **	38.5% **	41.5% **	38.4% **	21.3% *	24.6%	31.4% *	45.2% **	35.5% **													
	供給力変化	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	維持	低下	低下	低下													
他産地供給力	IPo 価格変化	8.0%	9.6%	13.3%	2.8%	4.0%	2.6%	9.8%	15.9% **	12.1%	11.2%	7.1%	4.2%	29.1% **													
	ISo 供給変化	26.0% ***	7.5%	0.5%	13.3%	29.6% **	36.9% ***	61.6% ***	79.3% ***	75.2% ***	33.0% ***	29.8% ***	23.3% ***	14.6% *													
	供給力変化	増大	維持	維持	維持	増大	-																				
京都府コスト競争力		低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	-													
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	9.1%	8.6%	8.5%	7.3%	6.7%	6.0%	5.9%	5.9%	7.0%	10.6%	11.5%	12.9%													
	IQj 京都府市場シェア	18.7%	10.4%	19.5%	12.7%	16.9%	11.7%	18.7%	10.4%	19.7%	9.6%	18.1%	9.0%	21.9%	9.2%	23.9%	9.7%	23.4%	12.0%	18.2%	11.2%	16.3%	9.4%	18.2%	9.0%	17.6%	10.7%
	IRj 他産地との価格差	36.3%	24.9%	56.5%	52.0%	69.6%	48.2%	56.7%	46.7%	30.8%	38.1%	18.5%	22.8%	3.6%	23.6%	0.8%	11.7%	-3.0%	6.0%	10.7%	-4.0%	29.6%	6.6%	41.5%	21.0%	58.0%	21.2%

概要

生シイタケは、冬場に出荷量が多くなるが、周年的に入荷がある。  
京都府産も周年的に1割前後の出荷量シェアがある。ただし、以前は年計で18.7%の出荷量シェアがあったが、現在は10.4%に低下した。  
市場単価は、他府県産よりも年計で24.9%高いが、以前は36.4%高だったので、その優位性はやや縮まっている。

需要

生シイタケの需要は、1~3月期の動きは小さいものの、それ以外のほとんどの月において需要は増加している。出荷量は多い月で5割近く増加しているが、7月期を除けば、顕著な価格低下につながっていない。

商品価値競争力

他産地が供給を増加させる中で、京都府産の生シイタケの出荷量は減少している。にもかかわらず、価格差は全般的に縮小傾向にあるから、京都府産生シイタケの商品価値競争力は低下していると判断される。

コスト競争力

京都府産の価格の優位性は失われてきたものの、それは他産地の価格が上がったため、京都府産生シイタケの販売単価が顕著に低下しているわけではない。にもかかわらず、年計で36.7%の出荷量の減少がみられた。京都府産のコスト競争力は低下していると判断される。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	ハウレンソウ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月													
需要動向	ID 需要変化		9.0% **	13.6% ***	10.5% **	×	11.2% **	11.2% ***	×	×	×	59.8%	8.0% **	7.8%	×													
	IS 供給変化		13.5% **	24.5% ***	11.9%	11.5% *	5.5%	15.0% **	7.6% *	12.0%	2.0%	22.9% **	24.4% **	3.4%	20.9% ***													
	IP 価格変化		4.5%	23.2% *	2.2%	9.5%	6.4%	5.1%	1.1%	0.5%	0.7%	12.9% **	17.0%	9.1%	5.4%													
		補助指標判別		減少	-	維持	減少	維持	減少	減少	維持	維持	-	減少	維持	減少												
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度		×	0.69 ***	×	0.50 **	×	×	0.15	0.11	×	×	×	0.52 **	0.31 *													
	ICj 競争力変化		×	6.6 *	×	12.0	×	×	×	×	×	×	×	15.5 **	21.1 ***													
	ISj-o 出荷シェア変化		6.5% ***	3.0%	8.4% ***	11.1% ***	5.0% **	10.7% *	9.3% ***	9.0% ***	8.3% ***	5.5% ***	7.7% **	3.0%	0.3%													
	IPj-o 価格差変化		2.1%	0.1%	2.4%	4.9%	6.7% *	1.4%	11.2% ***	25.4% **	13.4% **	6.6% **	9.8% **	5.4%	16.6% **													
	補助指標判別		-	維持	-	-	低下	-	-	-	-	低下	低下	維持	低下													
京都府供給力	IPj 価格変化		2.5%	22.4% *	3.6%	12.2%	8.6%	4.1%	9.2% *	22.7% **	12.6% **	6.6%	8.9%	11.9%	3.7%													
	ISj 供給変化		28.3% ***	28.8% ***	25.5% **	27.9% **	13.9% *	38.9% **	57.1% ***	71.6% ***	79.1% **	74.1% ***	50.2% **	3.7%	21.5% **													
		供給力変化		低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	維持	低下												
他産地供給力	IPo 価格変化		4.2%	23.5% *	1.3%	8.0%	2.5%	5.6%	1.0%	1.0%	3.1%	13.4% **	18.1% *	6.8%	13.3%													
	ISo 供給変化		4.4%	19.7% *	4.5%	12.9%	5.2%	0.3%	2.8%	2.9%	7.1%	18.4% *	16.9% *	8.8%	20.4% *													
		供給力変化		維持	低下	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	低下	低下	維持	低下												
京都府コスト競争力			低下	-	低下	低下	低下	低下	低下	低下	低下	-	-	維持	-													
参考指標	IM6 6月対年出荷割合		100.0%	8.4%	10.3%	10.8%	8.8%	7.8%	7.7%	6.5%	5.6%	6.1%	8.8%	10.6%	8.6%													
	IQj 京都府市場シェア		38.3%	31.8%	52.3%	49.3%	54.6%	46.2%	59.7%	48.6%	56.2%	51.3%	38.0%	27.3%	17.4%	8.1%	13.3%	4.3%	10.5%	2.3%	8.2%	2.8%	22.5%	14.8%	43.6%	40.7%	48.7%	48.4%
	IRj 他産地との価格差		-12.7%	-14.9%	3.9%	3.7%	4.8%	7.2%	7.0%	11.9%	12.3%	5.6%	3.1%	1.7%	12.4%	23.6%	18.4%	43.8%	33.2%	46.6%	3.3%	-3.2%	-5.0%	-14.8%	3.6%	-1.8%	11.3%	-5.3%

**概要** 京都府産の市場シェアは31.8%で、6.5ポイントほど低下した。周年的に供給されているが、4月がピークとなり、51.3%のシェアを占める。京都府産の市場単価は1~8月期に高く、9~12月に低い。最近6~8月期の出荷量が減少し、シェアも数%台になってしまったが、そのぶん価格が高まっている。

**需要** ハウレンソウの需要は最近低下傾向にあり、7~9月を除いて10%前後の需要の縮小がみられる。

**商品価値競争力** 京都府産のハウレンソウは、9~12月期を中心に、市場シェアが縮小し、価格も他産地に引き離されてきていることから、商品価値競争力は低下傾向にあると判断される。

**コスト競争力** 京都府産のハウレンソウは、その価格変化にかかわらず、出荷量が大きく減少しており、供給力が低下している。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	マンガンジトウガラシ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月										
需要動向	ID 需要変化		71.9% ***	130.3% ***	101.9% ***	51.1% ***	×	64.9% ***	52.7% ***	52.5% ***	91.1% ***	196.6% *	×	273.6% ***	147.5% ***										
	IS 供給変化		54.6% **	141.6% ***	105.9% ***	24.8%	12.6%	5.9%	39.8% **	35.6% *	94.7% ***	89.4% ***	111.2% ***	126.8% ***	72.7% **										
	IP 価格変化		10.5% *	10.1%	2.3%	8.1%	10.4%	35.4% ***	8.5%	14.6% *	3.3%	35.7% ***	38.9% ***	55.7% **	56.1%										
	補助指標判別		増大	増大	増大	維持	維持	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大	増大									
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度		×	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0.31 **	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
	ICj 競争力変化		×	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	12.2 **	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
	ISj-o 出荷シェア変化		0.9%	16.1% #DIV/0!	5.7% #DIV/0!	7.5% #DIV/0!	0.0% #DIV/0!	0.0% #DIV/0!	0.0% #DIV/0!	0.0% #DIV/0!	0.1%	0.2% #DIV/0!	0.1%	0.6% #DIV/0!	5.9% #DIV/0!	16.7% #DIV/0!									
	IPj-o 価格差変化		12.4% *	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	24.8% *	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!						
	補助指標判別		上昇	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	上昇	#VALUE!	上昇	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
京都府供給力	IPj 価格変化		10.2% *	14.9%	5.4%	5.1%	10.4%	35.3% ***	8.5%	14.6% *	3.4%	35.1% ***	39.0% ***	54.1% **	44.4%										
	ISj 供給変化		56.1% **	188.1% ***	118.4% ***	34.9% *	12.6%	5.9%	39.7% **	35.7% *	95.0% ***	89.6% ***	112.5% ***	141.1% ***	107.4% ***										
	供給力変化		-	増大	増大	増大	維持	低下	増大	-	増大	-	-	-	増大										
他産地供給力	IPo 価格変化		4.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	14.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	9.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!						
	ISo 供給変化		61.6%	100.0%	95.8%	100.0%	#DIV/0! *	35.5%	43.6%	8.4%	39.4%	57.6%	38.5%	96.9%	98.8%										
	供給力変化		維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	維持	#VALUE!	維持	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!									
京都府コスト競争力		-	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	-	#VALUE!	-	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!										
参考指標	IM6 6月対年出荷割合		100.0%	1.6%	1.4%	2.5%	4.1%	7.0%	19.0%	20.7%	18.4%	12.6%	7.5%	3.4%	1.7%										
	IQj 京都府市場シェア		98.8%	99.7%	83.9%	100.0%	94.2%	99.9%	92.5%	100.0%	100.0%	99.9%	99.8%	99.8%	99.4%	99.5%	99.1%	99.7%	94.0%	99.9%	83.2%	99.9%			
	IRj 他産地との価格差		50.8%	63.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	9.0%	#DIV/0!	40.0%	30.8%	55.6%	#DIV/0!	59.4%	58.1%	89.2%	#DIV/0!	81.1%	#DIV/0!	130.6%	#DIV/0!

**概要** 万願寺トウガラシの出荷最盛期は7月を中心とした4ヶ月ほどだが、他の月もわずかずつ周年的に出荷がみられる。京都府産の出荷シェアが99.7%である。以前は他府県産からの入荷も1割程度あったが、このところほとんどなくなった。市場単価も、わずかに出荷されている他府県産と比較して、6割ほど高い。

**需要** 需要は、周年的に非常に大きな伸びを示している。伸び率は、年計で71.9%、最盛期の7月が52.5%、8月が91.1%、9月が196.6%である。

**商品価値競争力** 京都府の独占状態になってしまったので、係数を測ることはできないが、周年的に他産地を駆逐していることから、商品価値競争力は当然高まっているものと判断される。

**コスト競争力** 他産地の入荷がないので比較はできないが、京都府産の出荷量は、年計で56.1%増加した。特に、8~9月の出荷量は倍増しており、単価の上昇を上回る供給力の向上が見られる。

産地名	京都府	最新年	2005
市場名	京都	品目名	ミズナ

		出荷月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
需要動向	ID 需要変化	×	9.6%	12.7%	×	×	×	×	59.0% ***	17.0%	×	8.4% **	×	×													
	IS 供給変化	4.4%	25.2% **	25.8% **	5.0%	9.3%	27.1% **	4.7%	9.8%	34.4% ***	24.0% **	17.6% *	1.7%	1.7%													
	IP 価格変化	4.1%	28.5%	16.7%	1.3%	17.9%	2.1%	12.8%	22.8% *	12.7%	8.4%	23.5%	11.2%	10.9%													
	補助指標判別	維持	減少	減少	維持	維持	減少	維持	増大	増大	増大	減少	維持	維持													
京都府商品価値競争力	μ 差別化の程度	0.90 ***	1.31 ***	2.25 ***	0.85 ***	×	×	×	2.23 **	×	3.75 ***	1.75 *	1.03 *	0.53 *													
	ICj 競争力変化	22.4 ***	23.4 ***	25.2 ***	16.8 **	×	×	×	10.5 ***	×	20.3 ***	24.7 **	1.7	6.7													
	ISj-o 出荷シェア変化	1.1%	2.0%	4.4% *	3.6%	6.4% **	10.3% ***	4.8% **	3.1% **	0.4%	0.2%	0.3%	2.7%	6.9%													
	IPj-o 価格差変化	29.8% **	57.0% *	22.1%	2.0%	9.4%	14.5%	5.3%	32.8%	39.9%	71.1% **	69.8% ***	10.2%	24.1%													
	補助指標判別	上昇	上昇	-	維持	-	-	-	-	維持	上昇	上昇	維持	維持													
京都府供給力	IPj 価格変化	19.1% *	43.8% *	20.8%	2.8%	19.0% *	2.2%	7.3%	21.4%	15.6%	29.0% **	49.1% **	3.1%	25.5%													
	ISj 供給変化	2.3%	19.2%	10.4%	14.4%	53.3% ***	49.3% **	42.6% *	54.9% ***	29.9% **	21.3% *	19.4%	11.4%	24.5%													
	供給力変化	低下	低下	維持	維持	増大	増大	増大	増大	増大	-	低下	維持	維持													
他産地供給力	IPo 価格変化	1.9%	9.4%	10.4%	6.5%	22.6%	11.8%	9.9%	19.8% *	17.7%	16.2%	16.9%	14.4%	4.5%													
	ISo 供給変化	5.7% *	27.2% ***	29.9% **	9.2%	15.7% **	35.4% ***	9.8%	6.1%	34.9% **	24.3% **	17.3% *	1.9%	11.3%													
	供給力変化	低下	低下	低下	維持	低下	低下	維持	低下	増大	増大	低下	維持	維持													
京都府コスト競争力		-	-	増大	維持	増大	増大	増大	増大	-	-	-	維持	維持													
参考指標	IM6 6月対年出荷割合	100.0%	5.3%	5.9%	10.0%	9.5%	6.2%	7.0%	8.7%	8.4%	10.6%	7.9%	8.3%	12.2%													
	IQj 京都府市場シェア	15.9%	17.0%	25.4%	27.4%	21.0%	25.4%	17.7%	21.4%	9.2%	15.6%	9.8%	20.0%	9.8%	14.6%	7.6%	10.7%	10.4%	10.1%	9.3%	9.1%	12.6%	12.4%	26.9%	24.3%	26.8%	19.9%
	IRj 他産地との価格差	54.9%	84.7%	60.6%	117.6%	62.0%	84.2%	49.6%	51.6%	66.9%	57.5%	59.0%	73.5%	104.1%	109.4%	145.8%	178.6%	53.9%	93.8%	103.1%	174.2%	83.5%	153.3%	21.9%	32.1%	12.6%	36.7%

**概要** 京都府の市場シェアは年平均17%で、増加傾向にある。水菜は周期的に供給されるようになったが、京都府の市場シェアは1月がピークで27.4%である。8～12月の市場シェアを減らして、3-7月のシェアが増加してきている。他産地との価格差は歴然で、年平均で84.7%高く、7月産は178.6%高い。その差は広がってきた。

**需要** 水菜の需要は、冬場に維持～やや減少だが、7～9月の夏場の需要は拡大してきている。

**商品価値競争力** 市場シェアや価格差も拡大しており、京都府産の商品価値競争力は一層向上してきた。1月と9～10月の商品価値競争力の向上が顕著である。

**コスト競争力** コスト競争力においても京都府産水菜は優位性を強めている。京都府産の供給増加の傾向は強く、他産地の供給力は低下傾向である。他産地が大きく出荷量を伸ばしてきた8～9月においても、京都府産は同程度に出荷量を増大させており、他産地の単価が低下するなかで、京都府産はむしろ単価を向上させた。